第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

政策目標4

心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち

- 施策4-1 教育環境の整備
- 施策4-2 未来を創る教育の充実(小・中学校)
- 施策4-3 生涯学習活動の推進
- 施策4-4 青少年の健全な育成
- 施策4-5 市民スポーツ活動の推進
- 施策4-6 歴史・芸術文化の振興
- 施策4-7 郷土愛の醸成

担	当課 教育総務課				施策4-1	うるだすが	#: **			
TH		グキマキ た	左庄		I			D7		
	目標 4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習で	くとのより	年度	R3	R4	R5	R6	R7	-	
施策	分野 1 教育環境の整備		指標数	18	18	19	19	19	1	
日指	によっている。 「児童・生徒・教職員・保護者にとって」	見童・生徒	達成数	14	11	12	0	0		
	が学習しやすい環境が整っている		達成率	77.8%	61.1%	63.2%	0.0%	0.0%		
			指標数	3	3	3	3	3	-]	
1 F	対果指標(KPI)		達成数	3	3	3	0	0		
			達成率			100.0%	0.0%	0.0%		
-th		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標	元里工ル・ハヨにりの教育用コノ	R1	目標値	1	1	1	1	1	台	教育総
1	` ピュータ数	0.16台	実績値	1.03	1.07	1.11			_	務課
				一達成	○ 達成	○ 達成	_		以上	
目標	■ 国が推進するG GAスクール構想(※※G GAスクール構想・・・1人1台端末							ま叫た士揺ち	EIIV IIII	レオス
の	→ 子供を含め 名様な子供たちを誰― 人取り母	に、同述人 はことなく.	合皇の題、公正に	個別最適化	一クセー体に	39に	国確実に育5	かかる又接て	理境	を実現し
考え	する。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		10/3342/210	C W) () (13070.0	30000000			27(5)
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
								改修計画に		
成果		R2	目標値	0/14	1/14	1/12	1/12	基づく改修の実施		
指標 2	修計画の策定・改修の実施							の実施 2/12	仪	教育総
			実績値	0/14	1/14	1/12				務課
		未策定	評価		〇 達成	〇 達成			以上	
日標	i 統廃合が決定している学校(東・西・h	且力い 及7ぎ!					こが確実で	あると考え		
ロ15cl の	校(南小・南中・大池小・門野中)にこ									
考え	方済みの学校数)									
成果	異物混入、アレルギー、食中毒	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課
指標		R1	目標値	0			0	0	件	教育総
3	を及ぼす事故の発生件数	O件	実績値評価	O 達成	_	O 達成				務課
							 	<u> </u> 化が荽しん) 学校	か給
目標の										
	方安全安心な給食を提供する。	201	#01CC	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			- <u>-</u>	± C _P 3 C (3,0	٥١١٥٥
	1 (実績評価)・令和3年度の児童生徒数3	3.761人に対	1し、 端ま	53.890台	(令和3年度	末)を整備	した。			
	(次年度修正点)・購入から1年間のメーカー							ため、引き約	売き日	標値が
	達成できるよう適切に修繕等				נווגע ל דיואט.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3 /6/01/07/	C 51 C 115	,,C L	1X1E/5
R 3	2 (実 績 評 価)・統合に伴う東小学校校舎の	D改修修繕を	実施した	-0						
年	(次年度修正点)・引き続き東小学校校舎のご									
度	3 (実績評価)・アレルギーガイドブックは	(以)	修会の実	施など、市	内全校で共	有すること	で事故を未然	然に防止する	る体制	が強化
	された。			->					D D.	
	(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 る。	心、原因食材	も多岐に	」波るため、	事政防止の	研修会を実施	他すること	び里型な手を	女1. 155	11-71
								て事成で不然	WIC P/J	шэ
		501 1 T \$t	1. 端丰	·2.87/台(全和1年度	ま)を敕借し	.t=	(事成で不行	WICP)	ш. 9
	1(実 績 評 価)・令和4年度の児童生徒数3									
R		-保証も終了	しており)、今後故障						
4	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー	-保証も終了 こ修繕等を行	しており)、今後故障 ·。						
4 年	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー 標値が達成できるよう適切に	-保証も終了 こ修繕等を行 D改修修繕を	しており っていく 実施した) 、 今後故障 · 。 !						
4	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー 標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の	-保証も終了 に修繕等を行 の改修修繕を 8繕箇所の選	しており っていく 実施した 定を行う)、今後故障 .。 . 。 .。 .。	する端末の	増加が加速を	すると予想で	されるため、	引き	続き目
4 年	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価) ・アレルギーガイドブックで (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加	-保証も終了 に修繕等を行 の改修修繕を 多繕箇所の選 な訂、衛生研 の、原因食材	しており っていく 実施した 定を行う 修会の実 も多岐に)、今後故障 た。 ら。 空施など、市 渡るため、	する端末の 内全校で共 事故防止の	増加が加速 有すること 研修会を実	すると予想。 で事故を未 施すること	されるため、	引き	続き目が強化
4 年	1 (実 績 評 価)・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価)・統合に伴う東小学校校会の (次年度修正点)・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価)・アレルギーガイドブックの	-保証も終了 に修繕等を行 の改修修繕を 多繕箇所の選 な訂、衛生研 の、原因食材	しており っていく 実施した 定を行う 修会の実 も多岐に)、今後故障 た。 ら。 空施など、市 渡るため、	する端末の 内全校で共 事故防止の	増加が加速 有すること 研修会を実	すると予想。 で事故を未 施すること	されるため、	引き	続き目が強化
4 年	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価) ・アレルギーガイドブック3 (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 1 (実 績 評 価) ・令和5年度の児童生徒数3	-保証も終了 -保証も終了 - 修繕等を行 の改修修繕を 多繕箇所の選 収訂、衛生研 の、原因食材 8,419人に対	しており 実施した 定を行う 修会の実 も多岐に すし、端末)、今後故障 。 。 変施など、市 渡るため、 E3,784台	する端末の 内全校で共 事故防止の (令和5年度	増加が加速 有すること 研修会を実 表)を整備	すると予想で で事故を未続 施することで した。	されるため、	引き 3体制 %に防	続き目が強化
4 年	1 (実 績 評 価)・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価)・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点)・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価)・アレルギーガイドブックで (次年度修正点)・アレルギー児童生徒数増加	-保証も終了 -保証も終了 - 修繕等を行 の改修修繕を 多繕箇所の選 収訂、衛生研 の、原因食材 8,419人に対	しており 実施した 定を行う 修会の実 も多岐に すし、端末)、今後故障 。 。 変施など、市 渡るため、 E3,784台	する端末の 内全校で共 事故防止の (令和5年度	増加が加速 有すること 研修会を実 表)を整備	すると予想で で事故を未続 施することで した。	されるため、	引き 3体制 %に防	続き目が強化
4 度 	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価) ・アレルギーガイドブック3 (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 1 (実 績 評 価) ・令和5年度の児童生徒数3	- 保証も終了こと に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	しており っていく 実を行う 定を分り 修名の もあり は いて に な の し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、)、今後故障 。 。 。 。 庭施など、市 。 渡るため、 下 る,784台 lき続き目標	内全校で共 事故防止の (令和5年度)	増加が加速 有すること 研修会を実げ ま、を整備 きるよう適い	すると予想。 で事故を未 施すること・ した。 切に修繕等で	されるため、 然に防止するで事故を未然	引き 3体制 %に防	続き目が強化
4年度 R 5	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価) ・アレルギーガイドブックで (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 1 (実 績 評 価) ・令和5年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の	- 保証も終了こと では では できます できます できます できます できます できます できます できます	しており 実施した 実施を行う 修を多の し、 がら、 また から、 また がって から、 また できるの は がって いって いって いって いって いって いって いって いって いって い	、 ラース ラース ラース ラース ラース ラース ラース ラース	内全校で共 事故防止の (令和5年度)	増加が加速 有すること 研修会を実げ ま、を整備 きるよう適い	すると予想。 で事故を未 施すること・ した。 切に修繕等で	されるため、 然に防止するで事故を未然	引き 3体制 %に防	続き目が強化
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・アレルギーガイドブックの(次年度修正点) ・テレルギー児童生徒数増加1 (実績評価) ・令和5年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾向	- 保証も終了こと では では できます できます できます できます できます できます できます できます	しており 実施した 実施を行う 修を多の し、 がら、 また から、 また がって から、 また できるの は がって いって いって いって いって いって いって いって いって いって い	、 ラース ラース ラース ラース ラース ラース ラース ラース	内全校で共 事故防止の (令和5年度)	増加が加速 有すること 研修会を実げ ま、を整備 きるよう適い	すると予想。 で事故を未 施すること・ した。 切に修繕等で	されるため、 然に防止するで事故を未然	引き 3体制 %に防	続き目が強化
4年度 R 5	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修 3 (実 績 評 価) ・アレルギーガイドブックで (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 1 (実 績 評 価) ・令和5年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に 2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の	- 保証も終了こと には には には には には には には には には には には には には	しておいくでは、実定を行いていた。実定を分の域にある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	、 ラ の の の の の の の の の の の の の	する端末の 内全校で共 事故防止の (令和5年度) 値を達成で	増加が加速 有すること 研修会を実 ま)を整備 きるよう適 備、照明設(すると予想。 で事故を未 施すること した。 辺に修繕等? 前の更新を望	されるため、 然に防止するで事故を未然を行っていく	引き る体制	が強化
4年度 R5年	1 (実 績 評 価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギーガイドブック3 (実 績 評 価) ・アレルギー児童生徒数増加 (次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実 績 評 価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修	- 保証も終了こと - 保証も終了 - 保証も終 - 保証も - 保証も	していいした行家にはいいしたでのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	、 ラ の の の の の の の の の の の の の	内全校で共事故防止の (令和5年度) 値を達成で がトイレ設	増加が加速 有することを実 ま)を整備 きるよう適 備、照明設し	すると予想で事故を未続をすることでした。 切に修繕等である。 ボージャーグ	されるため、 然に防止するで事故を未然 を行っている 実施した。	引き る体制	が強化
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修的 3 (実績評価) ・アレルギーガイドブック3 (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加 1 (実績評価) ・令和5年度の児童生徒数増加 (次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾向 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修的 3 (実績評価) ・主要7品目から8品目に3	- 保証も終了 - 保証も終了 - 保証等を - 保証等を - 保証等を - 保証等を - 終題の - のは -	していいたでは、大きないには、大きないには、大きなのでは、まないのでは、大きなのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないではないでは、ないではないでは、ないではないでは、ないではないではないでは、ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	、 ラ の の の の の の の に渡るため、 下 で で の に で の に で の に で の に で の に の 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	内全校で共事故防止の (令和5年度) 値を達成で のトイレ設 がよいに対す	増加が加速 有すること実際 (素)を整備 (素)の改訂、 をの改訂、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し	すると予想で事故を未然施することでした。 切に修繕等でである。 ボールである。 ボールである。 アレルギーができる。	されるため、 然に防止するで 事故を未然 を行っていく 実施した。 対策委員会のできた。	3体制 (人) の開催	が強化止す
4年度 R5年	1 (実績評価)・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点)・今後計画する学校の改修修 3 (実績評価)・アレルギーガイドブックで (次年度修正点)・アレルギー児童生徒数増加 1 (実績評価)・令和5年度の児童生徒数増加 (次年度修正点)・今後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点)・今後計画する学校の改修修 3 (実績評価)・主要7品目から8品目に3 研修会の実施など、市内全権	- 保証も終了行を経続等にある。 保証・保証・特をを終める。 保証・特を終める。 保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保	しっ実定修もし、か、実、定とす岐においした行の岐端、5、6、6、6、6、6、7、8とでにるにあるには、5、6、7、8とでは、5、7、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8)、今後故障。 高など、市 高なため、 高3,784台 はき続き目標 こ。南中学校 るアレルギー で事故、ヒヤ	する端末の 内全校で共の (令を (令を (令を (で)がり (で)がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし (増加が加速 有すること実際 (素)を整備 (素)の改訂、 をの改訂、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し、 を変し	すると予想で事故を未然施することでした。 切に修繕等でである。 ボールである。 ボールである。 アレルギーができる。	されるため、 然に防止するで 事故を未然 を行っていく 実施した。 対策委員会のできた。	3体制 (人) の開催	が強化止す
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後計画する学校の改修約3 (実績評価) ・アレルギー児童生徒数増加 (次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修約3 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修約3 (実績評価) ・主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発	- 保証も終了行を経続等にある。 保証・保証・特をを終める。 保証・特を終める。 保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保証・保	しっ実定修もし、か、実、定とす岐においした行の岐端、5、6、6、6、6、6、7、8とでにるにあるには、5、6、7、8とでは、5、7、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8、8)、今後故障。 高など、市 高なため、 高3,784台 はき続き目標 こ。南中学校 るアレルギー で事故、ヒヤ	する端末の 内全校で共の (令を (令を (令を (で)がり (で)がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし ()がし (増加が加速 有すること実際 (素)を整備 (素)の改訂、 をの改訂、 をの改訂、 をのないである体制を整	すると予想で事故を未然施することでした。 切に修繕等でである。 ボールである。 ボールである。 アレルギーができる。	されるため、 然に防止するで 事故を未然 を行っていく 実施した。 対策委員会のできた。	3体制 (人) の開催	が強化止す
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・ アレルギー児童生徒数増加 (次年度修正点) ・ ラ後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ ラ後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・ 主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核の実施など、市内全核の (次年度修正点) ・ アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発	- 保証・特別 (保証・特別 (保証・特別) (保証・対別) (保証・対	しっ実定修もしか実定とす岐、おいした行動に対する いち 施 を にる に再発する にる に再発する にる に再発する にん は とび しょう しょう しょう しょう しょうしょう しょうしゃ しょうしゃく しょう しょうしゃく しょうしゃく しょうしゃく しょう しょうしゃく しょう しょう しょうしゃく しょうしゃく しょう)、今後故障 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。	内全校で共の (令和5年度でから年度である) (ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (では、できない。) (で	増加が加速 有すること実際 (情、照明設) クの体制すること 共有すること	すると予想。 で事故を未 で施することで した。 の更新を望 アえて重大 を でで重大 まで で で で で が で が で が で が る こ で う く う く う く う く う く う く う く う く う く う	されるため、 然に防止するで事故を未然 を行っていく 実施した。 対策委員会の できる。 案の発生を表	5 付き 3 体 に D 開催	続き目が強化による
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・ラ後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発1 (達成状況)	- 保証等に という に は で で という で で という で は か が ら に は が の に は い は い は い は い は い は い は い は い は い は	しっ実定修もし、か、実、定とす・岐、おいしたう寒は端、うしたできるに再発しているに再発しているには、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	 ○ 今後故障 ○ 高 ○ 高 ○ 高 ○ 高 ○ 高 ○ 高 ○ 一 ○ 一 ○ 一 ○ こ ○ こ<	内全校で共の 内全校で共の (令和5年度) (令和5年度) がが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	増加が加速 有する会を整備、この間に表している。 有研に表している。 は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	すると予想。 で事故をまたで で施することで 他した。 があることで があることで でででで があることで がある。 があることで がある。 があることで がある。 があることで がある。 があることで があることで がある。 があることで がある。 があることで がある。 があることで がある。 があることで がある。 があるで がある。 があるで があるで があるで があるで があるで があるで があるで があるで	されるため、 然に防止するで事故を未然 を行っていく 実施した。 対策委員会の できる。 案の発生を表	5 付き 3 体 に D 開催	続き目が強化による
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・ アレルギー児童生徒数増加 (次年度修正点) ・ 予後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ 今後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の (次年度修正点) ・ 今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・ 主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の関連となった主動の両野 (次年度修正点) ・ アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発 (次年度修正点) ・ アレルギー児童生徒数の原因となった手側の再発 (次年度修正点) ・ アレルギー児童生徒数の原因となった手側の再発 (次年度修正点) ・ ストローにおり、令和5年度末の影響	- 保証・特別 (保証・特別 (保証・特別 (保証・特別) (保証・特別 (保証・特別) (保証・対別)	しっ実定修もしか 実定とす は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	、今後故障。。のなため、たるため、まるため、きるアレル故、たまた策をあるアレルな、たまたまたまた。れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、<l< td=""><td>内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784</td><td>増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る</td><td>すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、</td><td>されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表</td><td>引きるない。</td><td>続き目が強化に、衛生で対応で</td></l<>	内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784	増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る	すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表	引きるない。	続き目が強化に、衛生で対応で
4年度 R 5年度	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギーガイドブックの(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・令後の端末故障が増加傾に 2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の場合の実施など、市内全核の場合の実施など、市内全核の場合の対応) ・多後の端末故障が増加傾に今後の対応) ・今後の端末故障が増加傾に	- 保証・特別 (保証・特別 (保証・特別 (保証・特別) (保証・特別 (保証・特別) (保証・対別)	しっ実定修もしか 実定とす は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	、今後故障。。のなため、たるため、まるため、きるアレル故、たまた策をあるアレルな、たまたまたまた。れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、<l< td=""><td>内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784</td><td>増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る</td><td>すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、</td><td>されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表</td><td>引きるない。</td><td>続き目が強化に、衛生で対応で</td></l<>	内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784	増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る	すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表	引きるない。	続き目が強化に、衛生で対応で
4年度 R5年	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・記要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の大学では、アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発1 (達成状況) ・アレルギー児童生徒数の原列となった事例の再発1 (達成状況) ・同となった事例の再発1 (達成状況) ・今後の端末故障が増加傾にいるのはませばいる。	- 保証・特別 (保証・特別 (保証・特別 (保証・特別) (保証・特別 (保証・特別) (保証・対別)	しっ実定修もしか 実定とす は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	、今後故障。。のなため、たるため、まるため、きるアレル故、たまた策をあるアレルな、たまたまたまた。れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、れるし、<l< td=""><td>内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784</td><td>増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る</td><td>すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、</td><td>されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表</td><td>引きるない。</td><td>続き目が強化に、衛生で対応で</td></l<>	内全校で共の (令和5年度) で が (令が) で が (令が) が (令が) が が (で) が が に か) が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が に か と が が ま 3,890 が 末 3,784	増加が加速 有する会を整備、 高の体制を を整備、 の体制を を整備、 クる 共有すると と も合と と も合と と を を を を を を を を を を を を を と る し る し る し る し る し る し る し る し る し る	すると予想。 で事故を未たで で施することで した。 の更新を望 アえて重大が サスこで はまることで でで は、 でで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	されるため、 然に防止するで で事故を未然 を行っている 実施した。 対策委員会の 変の発生を表	引きるない。	続き目が強化に、衛生で対応で
4年度 R 5年度	1 (実績評価)・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・テレルギー児童生徒数第2 (次年度修正点)・ラ後の端末故障が増加傾に2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核(次年度修正点)・・アレルギー児童生徒数の販し、原因となった事例の再発1 (達成状況) A に国が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の販・ラ後の端末故障が増加傾にいく。2 (達成状況) B	- 保証等に (保証等) (保証等	しっ実定修もし、か、実、定、とす・岐、 つく さいした では、 いした では、 いした では、 でも、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 こく は、 でんしている でんしょう はいしょう はいいしょう はいしょう はいまままましい はいしょう はいしょく はいしょく はいしょく はいしょく はいしょく はい はいしょく はい	、今後故障ら。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。<	内全校で共の (内全校で共ので (令を達成で ががない)の が然にリッすする。 端末3,890に 値を達成で	増加が加速 有する会を整 満 の体 有する を整 満 のの体 有する を 単 合合さる よう いて 必 から は から	すると予想。 で事故をことで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで ボーンがこまで はいるこので にいるこのでで、	されるため、 然に防止する で事故を未然を行っていく 実施した。 対で素の発生をラ	引きる状に、 の関係には、 の関	続き目 が強す (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
4年度 R5年度	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・記要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の大学では、アレルギー児童生徒数の原となった事例の再発1 (達成状況) ・アレルギー児童生徒数の原列となった事例の再発1 (達成状況) ・同となった事例の再発1 (達成状況) ・今後の端末故障が増加傾にいるのはませばいる。	- 保証等に (保証等) (保証等	しっ実定修もし、か、実、定、とす・岐、 つく さいした では、 いした では、 いした では、 でも、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 いした では、 こく は、 でんしている でんしょう はいしょう はいいしょう はいしょう はいまままましい はいしょう はいしょく はいしょく はいしょく はいしょく はいしょく はい はいしょく はい	、今後故障ら。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。こ。<	内全校で共の (内全校で共ので (令を達成で ががない)の が然にリッすする。 端末3,890に 値を達成で	増加が加速 有する会を整 満 の体 有する を整 満 のの体 有する を 単 合合さる よう いて 必 から は から	すると予想。 で事故をことで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで であすることで ボーンがこまで はいるこので にいるこのでで、	されるため、 然に防止する で事故を未然を行っていく 実施した。 対で素の発生をラ	引きる状に、 の関係には、 の関	続き目 が強す (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
4年度 R5年度	1 (実績評価)・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点)・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・テレルギー児童生徒数第2 (次年度修正点)・ラ後の端末故障が増加傾に2 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点)・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価)・主要7品目から8品目に3研修会の実施など、市内全核(次年度修正点)・・アレルギー児童生徒数の販し、原因となった事例の再発1 (達成状況) A に国が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の販・ラ後の端末故障が増加傾にいく。2 (達成状況) B	- 保証等に関する と を 選 こ有 多め ままった こう 全 選 こ有 多め ままった こう	しっ実定修もしか 実 定 とす 岐、 づ4か 修 おいした行の岐端 、 し 行 よこ 渡発 令にる に再き、96、 を にる に再き、96、 修 を にる に再き、96、 修	。 宗施るだ。 宗施るただ。 宗施るでは、 京のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内全校で共の事でででである。 内全校防5年度でである。 一方然による。 一方然による。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはないる。 一方がない。 一方がな	増加が加速有が加速有が加速を整定を整備、照明制をを整なる。 は、 の体をををいる は、 の体ををなる は、 でいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	すると予想。 で施する。 で施した。 に修 新を記 アえ とで 端末 な で で で で で で で で で で で で で で で で で で	されるため、 然に防止する。 然で事故を未然を行っている。 実施した。 対できの発生を表の発生を表の際には予備の 適切に修糸	引きる状に、 の関係には、 の関	続き目 が強す (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
4年度 R 5年度 中間評.	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・令後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・予しルギー児童生徒数の原し、原因となった事例の再発1 (達成状況) (実績評価) ・国が推進するGIGAスクーしており、令ちの対応) ・今後の端末故障が増加傾につるの対応 (ク後の対応) ・の今後の端末故障が増加傾にいる。 2 (達成状況) (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎のた。 新たな全面的な改修計画を	- 保証等に関する と を 選 こ有 多め ままった こう 全 選 こ有 多め ままった こう	しっ実定修もしか 実 定 とす 岐、 づ4か 修 おいした行の岐端 、 し 行 よこ 渡発 令にる に再き、96、 を にる に再き、96、 修 を にる に再き、96、 修	。 宗施るだ。 宗施るただ。 宗施るでは、 京のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内全校で共の事でででである。 内全校防5年度でである。 一方然による。 一方然による。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはないる。 一方がない。 一方がな	増加が加速有が加速有が加速を整定を整備、照明制をを整なる。 は、 の体をををいる は、 の体ををなる は、 でいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	すると予想。 で施する。 で施した。 に修 新を記 アえ とで 端末 な で で で で で で で で で で で で で で で で で で	されるため、 然に防止する。 然で事故を未然を行っている。 実施した。 対できの発生を表の発生を表の際には予備の 適切に修糸	引きる状に、 の関係には、 の関	続き目 が強す (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
4年度 R 5年度 中間	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・ラ後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・ラ後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・統合に伴う東小学校を含め、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の実施など、市内全核の対応) ・アレルギー児童生徒数の原因となった事例の再発1 (達成状況) ・国が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の場合の対応) ・今後の端末故障が増加傾に2 (達成状況) ・一国が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の場合の対応) ・今後の端末故障が増加傾にいく。2 (達成状況) ・一場が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の場合の対応) ・一場が推進するGIGAスクーしており、令和5年度末の場合の対応 ・一等後の端末故障が増加傾になるには、第2 ・統合に伴う東小学校校舎のた。	- 保証等に関する と を 選 こ有 多め ままった こう 全 選 こ有 多め ままった こう	しっ実定修もしか 実 定 とす 岐、 づ4か 修 おいした行の岐端 、 し 行 よこ 渡発 令にる に再き、96、 を にる に再き、96、 修 を にる に再き、96、 修	。 宗施るだ。 宗施るただ。 宗施るでは、 京のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内全校で共の事でででである。 内全校防5年度でである。 一方然による。 一方然による。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはいる。 一方がはないる。 一方がない。 一方がな	増加が加速有が加速有が加速を整定を整備、照明制をを整なる。 は、 の体をををいる は、 の体ををなる は、 でいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	すると予想。 で施する。 で施した。 に修 新を記 アえ とで 端末 な で で で で で で で で で で で で で で で で で で	されるため、 然に防止する。 然で事故を未然を行っている。 実施した。 対できの発生を表の発生を表の際には予備の 適切に修糸	引きる状に、 の関係には、 の関	続き目 が強す (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
4年度 R 5年度 中間評.	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の(次年度修正点) ・一多後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・一・一・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 保証 ・ 保証	しっ実定修もし か 実 定 とす 岐、 づ4か 修 とてて施を会多、 ら 施 を にる に再 き9ら 修 もにる に表 、 りん 、 繕 に 、 まいした では 、 し 行 よこ 渡発 へん 引 繕 に 、 に で まい かん で まこ で で かん で で い かん で で で かん で かん で で かん かん で かん で かん かん で かん かん かん かん で かん かん かん で かん	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象 が は か は か は か は か は か は か い か が か い か が か い か が か い か が か い か が か い か が か い か が か い か が か い か が か い か か か か	増加が加速有のでは、あるは、このでは、では、このでは、では、このでは、では、このでは、では、このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	すると予想。 で施しいの 前の レルこ するで 事事 が 事が 事	されるため、 然で事故で表れるで表れるで表れるで表れるで表れるで表れるで表れるで表れるで表れるで表れる	引き る 本 は に に を を を を を を を を を を を を を	続き目 が止す 衛止 で行しし
4年度 R 5年度 中間評.	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の改修的3 (実績評価) ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・・統合に伴う東小学校校舎の次年度修正点) ・今後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・・統合に伴う東小学校校舎の次年度修正点) ・・一次年度修正点 ・・一・一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	- 保修 では では では では では できる では できる では できる では できる では できる	しっ実定修もし か 実 定 とす 岐、 づ4か 修 と してて施を会多、 ら 施 を にる に再 き19ら 修 も 、 学がいしたう実に謂 5 た さ ると 渡発 令に言 様 に 学校 かん できる かん ま で が かん で	 今後数 のをはまる。 のをはまる。 のをはまる。 のをはまる。 のではまる。 できまる。 できまる	はする端末の 内事では では では では では では では では では では では では では で	増加が加速有のでは、き、備、の体有する会を整うのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	すると で施しい で施しい で施しい で施しい で施しい で施しい で施しい で施しい で施しい ででがまする。 に修う でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではない でではまる。 でではなる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではまる。 でではな。 でではなる。 でではなる。 でではなる。 でではなる。 でではなる。 でではなる。 でではなる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 でではな。 ででな。	されるため、 然で事なたまなで、 然で事がで、 を行いて、 を行いて、 を変にないで、 で、これでで、 をで、これでで、 をので、これでで、 のので、これで、 のので、 のので、 のの	引き る 本 は は に に を を を を を を を を を を を を を	続き目 が止 (な) (な) <
4年度 R 5年度 中間評.	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の以作度修正点 ・アレルギー児童生徒数増加(次年度修正点) ・ラ後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・・命後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・・一ののでは、今後計画する学校の改修修3 (実績評価) ・・一ののでは、今後のは、でのでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一の	- 保修改修訂、4 1 の 2 を で 気管 いまで 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	しっ実定修もしか 実 定 とす 岐、 つ4か 修 と しよ にてて施を会多、 ら 施 を にる に再 き9ら 修 も 、り対 対 いした う に	(a) (b) (c) (c) (c) (内事で	増加が加速 有研末 き 備、 クる 共 台台き 南 て 護て事とをとる 南 て さい ひょう で 道 で で で で で で で で で で で で で で で で で	すると で施しいの である。 にある。 にある。 にある。 にある。 にある。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にのでいる。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでいる。 にのでいる。 にのでい。 にのでい。 にので	されるため、 然で事を表すった。 然で事を方で素の際に切切ができる。 を実施で素の際に切切ができる。 を表を発性はにのの要ができる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のできる。 のでき	引き	続き目 が止 (な) (な) <
4年度 R 5年度 中間評.	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3 ・購入から1年間のメーカー標値が達成できるよう適切に2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の改修約3 (実績評価) ・アレルギー児童生徒数3 (次年度修正点) ・予後の端末故障が増加傾に2 (実績評価) ・一・統合に伴う東小学校校舎ので、次年度修正点) ・一・統合に伴う東小学校校舎ので、次年度修正点 ・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	- 保修改修訂、4 1 の 2 を で 気管 いまで 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	しっ実定修もしか 実 定 とす 岐、 つ4か 修 と しよ にてて施を会多、 ら 施 を にる に再 き9ら 修 も 、り対 対 いした う に	(a) (b) (c) (c) (c) (する端末 内事で (内事で) で (本) で (増加が加速 有研末 き 備、 クる 共 台台き 南 て 護て事とをとる 南 て さい ひょう で 道 で で で で で で で で で で で で で で で で で	すると で施しいの である。 にある。 にある。 にある。 にある。 にある。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にの更いにでいまる。 にのでいる。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでい。 にのでいる。 にのでいる。 にのでい。 にのでい。 にので	されるため、 然で事を表すった。 然で事を方で素の際に切切ができる。 を実施で素の際に切切ができる。 を表を発性はにのの要ができる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のでまる。 のできる。 のでき	引き	続き目 が止 (な) (な) <

指標数 15 16 16 16 ※ 基本的な 2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード) 達成数 11 8 9 0 0 0 ※ 80 章の達成														
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二]ード)	達成数	11	8	9	0	0				
					達成率	73.3%	53.3%	56.3%	0.0%	0.0%	況			
		小・中学校の規模と	配置の滴正化		指標数	1	1	2	2	2				
(D1	の推進		達成状況		1	1	2	0	0				
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		「伊東市立小・中学校の	東·西·旭小3校	R1	目標値	協議会の開催	統合の実現	統合後の フォロー アップの実	統合後の フォロー アップの実	統合後の フォロー アップの実	中田	≭ ℎ ズ ち クイシン		
	O,	101 規模及び配置の適正化に	の円滑な統合の実			I E		施	施	施	天坑	教育総 務課		
		向けた基本方針」の実現	現	基本方針	実績値	2回開催	実現	実施済				3200		
の策定 評価 〇 達成 〇 達成														
	0.	102 新たな基本方針の検討	3校統合後 の検証	後期方針内 容の検討	新たな基本 方針の策定	ı	教育総							
	Ĭ	. 02 1,7,00 0.2 1,70 21 12 12 12 13	策定	_	実績値	_		検証済				務課		
※1 評														
年度評価	R 4	0101 年4回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により年2回の開催となった。 0102 - 0101 統合地域協議会を3回開催し、了承を得た上で統合の実現を達成した。												
	R 5	O101 統合後の通学支援と 1 O割補助を実施し、0102 東・西・旭小学校統	統合における通学	の負担を可	能な限り)抑えた。			ない場合に	は路線バス)	通学定	期券の		
		O1O1(達成状況) B												
C	Þ	(実績評価) •基本方針に	基づく、適切なプロ	コセスを踏ん	んで統合	を実現した	0							
F	1		はが目指す学校像「変 は話会で調査審議し		育む学校	」の実現に	向けた適切が	な環境の実現	見を図るため	り、各地区の)具体	的方策		
ē	平	O1O2(達成状況) B												
1	5	(実績評価) ・アンケート	トによる意見を分野る	ごとに集約	した。									
		(今後の対応) ・後期方針の)策定に当たり、3村	交統合の検	証結果と	して教育問	題懇話会に	て報告する。						

		学校施設(の環境整備)	及び老朽化対		指標数	4	4	4	4	4		
()2	- 策	JANSULE IIII /		達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
		 主な内		管理指標	基準値	達成率	25.0% R3	25.0% R4	25.0% R5	0.0% R6	0.0% R7	出冶	担当課
				官连拍标	- 基準恒 R2	目標値	55.0	65.0	75.0		1000		担当味
		子校校告! 201 (床の乾i	イレの改修代化・洋式便	校舎内トイレの洋		実績値	51.5	61.8	68.0	00.0	100.0	%	教育総
	"	器の増設等		式化率	49.3%	評価	× 未達成		× 未達成			以上	務課
		nd /42/t=== a	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		R2	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12		#h ** ///\
	O2	202 ^{映像装直()} 改修	Dデジタル化	整備済学校の割合	6校/	実績値	6/14	6/14	6/12			校	教育総務課
		والما			15校	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	المالدة
		校舎屋上の	方水工事の実		R2	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総
	02	203 ^{校古座上以} 施	がエチの人	実施済学校の割合	7校/	実績値	7/14	8/14	8/12				務課
		234 ±±±==□. a	トニキヘルナ		15校 R2	評価 目標値	× 未達成 1/14	× 未達成 1/14	× 未達成 1/12	2/12	2/12	以上	
	٥	学校施設() 204 図るため()	D長寿命化を D大担模修繕	具体的な改修計画	nΖ	実績値	1/14	1/14	1/12	2/12	2/12	校	教育総
		204 図るため。 の検討	ノノへが、「大川シルロ	の策定	O校	評価	.,	〇 達成	〇 達成			以上	務課
		0201 東小学村	交校舎トイレ(の洋式化を実施し、	24基を整備			-		つた。令和	4年度は南/	.,	および
				イレの洋式化を実施									
				ノビ (電子黒板) の ・	整備と併せ	て検討し	ノていく予定	こだったが、	電子黒板の	みの整備とな	まった。次年	F度以	降計画
	R	R 的に改修を行っていく。 3 O2O3 東小学校校舎屋上防水工事を実施しているが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。											
	3												
		O2O4 東小学校校舎の改修計画を策定した。老朽箇所の把握や学校のあり方の要望調査に時間を要するためR4以降の目標値を変更し											
		た。											
		0201 南小学校及び門野中学校校舎トイレの洋式化を実施し、75基を整備したが、全体実績値は目標値を達成できなかった。											
年		O2O1 南小学校及び門野中学校校舎トイレの洋式化を実施し、75基を整備したが、全体実績値は目標値を達成できなかった。 令和5年度は南中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。											
度				レビ(電子黒板)の	整備と併せ	て検討し	ノていく予定	Eだったが、	目標値を達	成できなかっ	った。		
×	R 4			改修を行っていく。 **エ恵を思なしたが	中生法	N=	==+\ +	場ケーロック	=1 = 651=75	カナケー アレ	_		
評	4	0203 果小学的	父校舌座上的?	水工事を実施したが	、美領個lo	は 達成 じさ	きなかった。	次年度以降	計画的に改作	修を付って	15.		
価		0204 東小学村	· 応校舎の改修を	を完了した。									
ш		0201 763131		2703 0720									
				イレの洋式化を実施							かった。		
				P学校東側校舎トイI									
				レビ(電子黒板)の 改修を行っていく。	整備と併せ	て検討し	っていく予定	Eだったが、	目標値を達	成できなかっ	った。		
	R 5			以じなけっていて。 水工事を実施したが	宇結庙口		きたかった	炉午度 1/1/8	計画的にか		.\<		
		0200 🛪 115-1	又1又口注エ門ス	い工事を失応したが			3/0/3/2/100	八十尺以四		19 C 11 D C 1			
		0204 伊東小学	学校(旧東小学	学校)校舎の改修を	完了した。								
		0201 (達成	状 況) D										
		(中华亚体)	・抗全由トノ	(レの改修を進め、)	エポルダけ	白した	が _如ヱ	ウーたて車:	が宝佐できる	· 口插店!	法式できた	t) = 1	=
		(実績評価)		しの以修を進め、 /	キエバル学は	山上した	7). 、 —메丁	足 ひに工事/	い天心(ひ))、日际但IC	ほ残し合み	ار ۱۵۰	<u> </u>
		(今後の対応)	引き続き改	以修工事を実施する の	ともに、	後ろ倒し	となったエ	事計画の早期	朝実施につい	1て検討する	。また、過	去に[国の補
			助金を得て改	攻修したトイレにおい	って、和式	便器が整	備されたケ	ースもある	ため、この耳	又扱いについ	ても検討す	る。	
		0202(達成	状 況) D										
		/ ch /= == /= /	- \A/:	キの収従いtid=n.ナ戸	+1 ++4	□ +m / -	ちはけざさ	ts+) -+					
С	Þ	(実績評価)	• VVI一上I設備	前の修繕や増設を優好	てしたにめ	、日慓値	と 達及 ぐさ	<i>なかった。</i>					
		(今後の対応)	教育環境の	変化により、映像等	支置のデジ	タル化よ	りもWiーFi	環境の整備	が求められて	ている。既存	設備の改修	と併っ	せて.
F	1			が求められる設備の整			2 0.11		3.00 0 10				_ ,
=	平	0203(達成	状 況) D										
ō	+							bles :-					
ſā	Б	(実績評価)	・1 校につい	1て屋上防水工事を	実施したが	、整備順	位の変更に	伴い、目標的	直は達成でき	きなかった。			
		(今後の対応)	• 层 上 r h z h z l	事は、躯体に対する	ス丁重わる	イフラン	ンの再弁を	宝施する目	基命化 次白 7	「車と家技に	関係オスセ	<i>x</i> /	力長期
				_事は、独体に対する 占計画や配置適正化!					ᆲᅃᄓᅜᅜᄷᅩ	上尹しむ技に	- 太 ボタる/C	، دی	一1文州
		0204(達成						-					
		(実績評価)	1校につい	ハて、大規模修繕を	実施し、よ	り長期間	施設を利用	できる整備	を実施した。				
		(全络の対応)	. FIO FINE	長寿命化改良に向け、	東/芒=上 西	た批准!	アハノ						
		(今後の対応)	- & U & V IX		金属可固	で推進し	CVIC						

(03		フンターをi こ地産地消	最大限に活用の推進	達成状況	指標数達成数	5	5	5	5	5		
					甘淮店	達成率	80.0% R3	60.0%	60.0% R5	0.0%	0.0%	出冶	担当課
		主な内		管理指標 給食調理実施校(委託	基準値 R1	目標値	2人以上	R4 2人以上	2人以上	R6 2人以上	R7 2人以上	単位	担ヨ誄
	\cap'	学後の児童 301 据えた学校	生徒数を見る調理場の集	校を除く。) 1 校当た りの調理員(短時間	111	実績値		8人/2校		乙八以上	乙八以上	人	教育総
	Ů.	かり おんたまり	以前迁场♡未	パート職員を除く。)	11人/4校	評価	0 達成	○ 達成					務課
				の配置人数異物混入、アレルギー、食	R1	目標値	0	0	0	0	0		
	03	302 安全安心な	な給食の提供	中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の		実績値	0	Ö	Ö			件	教育総
				発生件数(市内全校)	〇件	評価	○ 達成	〇 達成	○ 達成				務課
	~	この 魅力ある学	学校給食の提	給食における残食	R2	目標値	対前年減	, 5155 1 1/7	. 0 100 1 1771	対前年減	対前年減	%	教育総
	Ů.	303 供		率(市内全校)	6.24%	実績値評価	7.55 × 未達成	8.02 × 未達成	9.27 × 未達成				務課
		当坊給舎を	に温いた合奈	給食の時間におけ	R2	目標値	14/14			12/12	12/12	校	新 套级
	O(304 ^{子仪和良で} の推進	を通じた食育	る食に関する年間	13校/	実績値	14/14					12	教育総 務課
				指導計画の作成率給食食材に占める	15校 R2	評価	○ 達成 対前年増	○ 達成 対前年増	○ 達成 対前年増	対前年増	対前年増		5,551
	03		活用した地	市内産食材の使用		実績値	10.9	5.3	4.8	V191-1-19	אין האניע ביי	%	教育総
		生地消の指		割合(市内全校)	5.0%	評価		× 未達成					務課
				富戸小学校を学校給								いが廃	校とな
				里場は八幡野小だけ こ情報の共有を図り								た街	生管理
				実施し、八幡野小は								//こ 用).	工巨坯
	R			検討する会議を定期								。新型	ピコロナ
	3			よる喫食方法(黙食									// ± // \
				食の時間や教科にお								こ。ラ	後も給
	食関係職員が定期的に学校給食センターで情報交換を実施することにより、食育活動、食指導の推進を図りたい。 O3O5 地元農家をはじめ、農協や青果店などの協力もあり、地元で生産された野菜等を納入できる機会が増え、安定的に使用することができた。 「地産地消推進事業」の活用により、使用回数・使用量も増加傾向にあり、今後も伊東産食材の積極的な活用を目指す。												できた。
		「地産地	也消推進事業」	の活用により、使用	回数・使用	量も増加	傾向にあり、	今後も伊東原	産食材の積極	的な活用を目	目指す。		
	R5年度から東小・西小・旭小の統合により西小・旭小が廃校となり、伊東小学校となったことから、単独調理場は八幡野小だけ O3O1 となった。単独校の良さを活かした学校給食、また、共同調理場、給食センターについては大量調理ならではの美味しい給食提供												
		O3O1 となった。単独校の良さを活かした学校給食、また、共同調理場、給食センターについては大量調理ならではの美味しい給食提供											
		を目指す。 O3O2 給食センターを拠点に情報の共有を図り、安心安全な給食提供の実現に努めた。R4年度は衛生管理について研究会を開催するこ											
	R			ノ、衛生意識の向上		-1 7 =	2 + LW24	> 11 ト * 1 1 ト / 1	+ \(\tau_1 \) + \(\tau_2 \)	bt + + - 7 4/2	\$0##±=	5+/ - 1	+ 11
年	4	0303 颗サの	のり刀につい ト給食を実施す	て検討する会議を定 するなど、児童生徒	期的に開催の かいい こうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ しゅう	をしている とうしん かんしょう かいしょう はいしょ しょうしん かいしょ しょうしん はいしょ しょうしん はいしょ しょうしん しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょう しょう	のさこ紀長で ば立作成を小	ルル と	を活用した)	胚刀のつ紀! も取り組ん!	えの掟供をす ぎ。さらに、	も他し 各校	/に。リー で食指
度				栄養面から残さない						O-1X 7 11 <u>4</u> 7 07	20 23.21		
=π				食の時間や教科にお									後も給
評				こ学校給食センター									
価				農協や青果店など多 できた。「地産地消									
			の積極的な活用			יונו (נולט	-00.9人 区/1.		里 式木0万			<i>7</i> 120	.00 ж
		0001 . 32.0.0		小だけとなった。令									
				よりも食数が少ない ハては大量調理の利					た学校給食	を提供する。	また、共同	1調堆	場、学
				基準を遵守し、衛生					握して安心	安全な給食を	を提供できる	るよう	、衛生
		意識の同	句上に努めた。										
	R	0303 献立に	ついては共通語	献立の作成、各校の 実施した。リクエス	施設・設備	i、人員を cなする <i>t</i>	を考慮しての)調整など、 - 待の味がた	各校でふる	さと給食やは	也産地消等を	を活用	した魅し
	5			^{実施} した。 リノエス 期に感染症の影響で					ち思した駅.	THREUN	J17、7次米5	≧∪ノ平土	川川二川
				師した食育を実践									
		た。今後 たい。	後も給食関係	職員が定期的に学校	給食センタ	ノーを中心	いに情報交換	やをすること	により、食	育活動、食	旨導の更なる	5推進	を図り
		0305 地元で生	主産された野菜	菜の種類や量には限	界があり、	市内産の	の食材の活用	率は低いま	まとなって	ハる。学校組	給食用に魚の	り切り	身を提
				D購入がほとんどな う、多方面に働きか						こより、使用	用回数・使用	月量・	野菜の
		0301(達成		ノ、タカ面に倒せる	170000	. 厌不庄良	マイグ・レフィラーション		1690				
		(実績評価)		生徒数を見据えた	学校調理場	の集約と	しては、令	和元年度によ	4校だったも	5のを1校に	集約できて	いる。)
		(今後の対応)	・ 今後は、	801校を維持すべる	きか集約す	べきか最	終段階の検	討をするこの	とになる。				
		0302(達成	状況) ▲										
		(実績評価)	・学校給食に	おける衛生管理基準					の維持管理、	修繕、備品	開入など、	衛生	管理基
				けて確保できた予算									
		(今後の対応)		の入替えや、施設の いら、修繕内容を期間							時期が夏季	休業は	中に限
	,	0303(達成			回しとこのまたまし	(6.98	・ノに伽走り	3CC 0:2013					
_	_	(実績評価)		 おいて、黙食の習 [†]	貫が身につ	いていた	ことや、給	食時間の児童	童を巡回指導	できなかっ	た事も要因	120	て考え
E	9			、配膳されたものの									
=		(今後の対応)		、特に給食時間に								せ、i	献立面
<u>.</u>	Ψ	0004 (# #		ことで、魅力ある	子仪紀艮の	美規に厄	川(取り組	め、残采率/	い 性	みつにして	いさにい。		
ſā	<u> </u>	O3O4(達成 (実績評価)		における食に関す	スケ門お道	計画の作	成率は10	○%であり	その内容に	ついても	伊東市教育	研究	会学校
		(実 績 評 価) ・給食の時間における食に関する年間指導計画の作成率は100%であり、その内容についても、伊東市教育研究会学校 給食部会を中心に取り組み、給食時間や授業での食育活動は充実した内容となってきている。											
		(今後の対応)		画を精査し、各学				展開するなの	ど、より具体	はいに児童生	徒に寄り添	った	内容と
				うに、関係職員と	の連携を強	化してい	きたい。						
		O3O5 (達成状況) C (実績評価) ・令和3年をピークに、年々減少傾向である。要因として、地場産野菜の収穫量減少、地元漁獲量の減少など、地域資源											
		(実績評価)	が少なくなっ	ピーグに、年々減少 ている傾向が挙げ	ジ頃回であられる。特	る。安区に、漁協	の学校給食	場性野采の場 部門への納	以慢重减少、 入撤退が批問	地兀馮獲量 E地消活用率	の減少に大	、心で	以東 影響し
			た。										
		(今後の対応)	・布望しても	購入できない状況 連携を強化し、学	か続いてい	つか、納 理解を促	人業者を公し、協力体	寿に (9 るなど納入	、業者の拡大 量が増加でき	に劣めたい	。まんたい	に、生
							, 1007-3 FT	СЕЛСО	ニー・レハカノ			, . ,	

()4		I C T 教育	環境整備の充	達成状況	指標数 達成数 達成率	5 5 100.0%		5 3 60.0%	5 3 60.0%	5 0 0.0%	5 0 0.0%			
		 主な内 [:]		管理指標	基準値	建以平	R3		R4	R5	R6	0.0% R7	単位	担当課	
			<u>ロ</u> 2で教職員1	教員1人当たりの	至手 lie R1	目標値		1	1	1	1	1			
	Ω_{4}	元星王促及 101 人1台端末		指導者用コン		実績値	1.03	•	1.05	-		'	台	教育総	
	Ů	拡充	(2)(2)(2)(1)	ピュータ数	0.40台		〇 達成			〇 達成				務課	
					R1	目標値	100	_	100		100	100			
	Ω_{4}	102 校内LAN	√無線LA	整備済学校の割合		実績値	100	_	100		100	100	%	教育総	
		102 N) 環境 <i>0</i>	D維持拡充	正顺// 3 1人000310	0%	評価		_		O 達成				務課	
		大型提示等	装置の小中学		R1	目標値	60.0	_ ~	70.0	90.0	100	100			
	04	103 校の全普通		整備済教室の割合		実績値	64.	_	62.0	-	100	100	%	教育総	
	0	教室整備	54VT 1970	正隔分数工。2010日	35.2%	評価				× 未達成			以上	務課	
		宇州小児公共	 機の全普通教		R1	目標値	36.0	_	50.0	70.0	90.0	100			
	\cap	大物技成場 104 室・特別教		整備済教室の割合		実績値	40.4	_	36.6		00.0	100	%	教育総	
		学校)	х <u>тты</u> м (.3.	正顺为秋工。2010日	35.2%	評価		_		× 未達成			以上	務課	
				児童生徒1人当た	R1	目標値		1	1	1	1	1			
	Ω_{4}	105 デジタル教	対を活用で	りの教育用コン		実績値	1.03	•	1.07	1,11			台	教育総	
	Ŭ	きる環境の	D整備	ピュータ数	0.16台	評価	-			O 達成			以上	務課	
		0401 令和3年	I 度の児童生徒	_ 走数3,761人に対し	、端末3.8								-/·I		
				ネットワーク障害か											
	R			な大型提示装置は整							-部特別教室	に大型提示	装置6	38台を	
	3			目標を達成できた。		_ , _ ,						,			
		0404 令和3年	F度中に新たれ	な実物投影機は整備	できなかっ	たが、素	奴室数の減	少に	より目標	を達成でき	た。				
		0405 令和3年	東度の児童生徒	走数3,761人に対し	、端末3,8	372台(*	令和3年度	末)	を整備し	た。					
		0401 令和4年	丰度の教職員数	数291人に対し、端	末307台	(令和45	拝度末)を	整備	した。						
		0402 無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。 0403 令和4年度中に新たな大型提示装置を8台設置したが、特別教室への整備が目標に達しなかった。また、年度ごとで使用している													
/ -		0403 令和4年度中に新たな大型提示装置を8台設置したが、特別教室への整備が目標に達しなかった。また、年度ごとで使用している													
牛		教室数が異なり、令和3年度と比較し整備済教室の割合が減少した。引き続き、大型掲示装置を整備していく。													
度	4	4 0404 令和4年度中に新たな実物投影機は整備できなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備													
/_		4 0404 令和4年度中に新たな実物投影機は整備できなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備 済教室の割合が減少した。引き続き、実物投影機の整備を実施していく。													
評		0405 令和4年	F度の児童生徒 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	走数3,594人に対し	、端末3,8	844台(*	令和4年度	末)	を整備し	た。					
		0401 令和5年	F度の教職員数	対287人に対し、端	末306台	(令和5年	度末)を	整備	した。						
価															
		O4O2 無線LA	N機器による	ネットワーク障害か	生じない。	よう校内組	無線LAN語	環境0	の維持を国	<u></u> 図った。					
	R			な大型提示装置は整							室数は減少し	したため、乳	実績値	は上昇	
	5			交現場に要望を確認											
				な実物投影機は整備							数は減少した	こため、実績	責値は	上昇し	
		た。引き	き続き、学校は	現場に要望を確認し	、必要に応	びて実物	加投影機の	整備	を進めて	いく。					
		0405 令和5年	丰度の児童生 征	走数3,419人に対し	、端末3,7	'84台(令和5年度	末)	を整備し	た。					
		0401(達成	状 況) <mark>A</mark>												
		/ / - \		0 # TO 0 7 1 1		+0000	(ATRE 5		+\ + ±51	#1 +					
		(実績評価)	・ 令机5年度	の教職員数287人	_対し、 端	末306台	う(令机りつ	ド送オ	末)を整1	前した。					
		(AW 6+++)	018 E E E		\10 7 = ===	0 D III +	生 土 ・ ティ	\ 7 /	n = 0	W ~ +W + ++n	*1-++	-1.			
		(今後の対応)	・令机5年度	での実績は、すでに [≤]	7和/年度	の目標を	達成して	100	かで、学	後(() 漏末故障	草に対心しく	.61<.			
			15.55	1											
		0402(達成	状況) A												
		(#BB L Z 1 L D	- District	°44-1×+-1	\ L = ±±==	hrr // Ć I		7.0/####	<u> </u>				
		(実績評価)	・無線LAN®	幾器によるネットワ	ーク障害な	、主じない	より校内	無級I	LAIN塓項	即の維持を図	った。				
		(合然の対応)	. 今和6年度	までの実績は、令種	コフケー	口描ち法	出している	2 10 7	万 	クササロション	との対応を行	一切しつつ	△纵.	Λth.th	
		(今後の対応)		をはての天禎は、174 環境の維持に努める。		日际で注	BA C CV 18	י כטע	し、ファ	クス 即件 子 を	ヨリスツルいでは	こ祝しノン、	フ阪	ノノ作文トリ	
_	ь	O 4 O3(達成	711111 3 1 — 1 1 1 1 1												
	4	0403 (達成	水 												
E	5	(実績評価)	• 佘和与任用	きから3校統合により) 教会物	は減ルエ	たため	包結布	直は上見	しているが	高価が生業	であスたか	シ チデ	たに大	
Ic	a)	(大顺叶皿/	型掲示装置を	を整備していくことが	が難しく目	は減少し 標数値に	達していた	ないり、		0 (110)	回画る女匠	2 (W) (W) (W)	A/1/	CICX	
≣.	Ψ	(今後の対応)		造置は学校現場でも						かせないもの	nとなってい)る. 引き続	!	学校現	
J		יטונייניין דיי		智認し、大型掲示装置				122		2 2.00100		الاات ال		J 1250	
ſċ	<u> </u>	O 4 O4(達成													
			, () d / U												
		(中维亚压)	令和5年度	まから3校統合により	 数字数 	は減少し	たため、国	E 結何	直は上昇	しているが、	デジタル教		者用`) が標	
		(実績評価)		こうとはから、新たったのでは、											
				なってきている。											
		(今後の対応)		低くなってきている							には欠かせな	いものとな	って	ハるこ	
			とから、引き	き続き、学校現場に											
		0405 (達成	状 況) A												
		(実績評価)	• 令和5年度	医の児童生徒数3,41	9人に対し	、端末3	,784台(令和	5年度末) を整備し	た。				
		(今後の対応)	• 令和5年度	での実績は、すでに ^会	合和7年度	の目標を	達成してい	130	ので、今日	後の端末故障	章に対応して	いく。			

担当課	教育指導課			施策4-20	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	未来を創る教育の充実(小・中学校)	指標数	20	22	22	23	23
月指す姿	児童・生徒が夢や希望を抱くことができる	達成数	8	9	9	0	0
日担9安	子どもたちが夢や希望を育むことのできる魅力ある学校	達成率	40.0%	40.9%	40.9%	0.0%	0.0%

	指標数 2 2 2 2 1 1 成果指標 (KPI) 達成数 1 1 1 0 0													
1	成果指標(KPI)													
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%						
	学校が楽しいと思う子どもの割合	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果 指標		R2	目標値	90.2	91.5	92.7	94.0	95.0	%	教育指				
18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1	ト)	89.1%	実績値	88.1	87.2	88.8			/0	教 目 扫 導 課				
		09.1%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	和守				
_ +=	- 児童を対象とした学校評価(学校生活)		の「学	校がたの	しいですか	」との質問	別に対し、	「かなり当	行は	ま				
目標の		画の割合。			0									
考え	小学校では、令和元年度実績88.6%、	令和2年度	実績89).1%と各年	丰度0.5ボ -	イントの上	昇幅にとと	ごまってい	るが、	各年				
ے کر د	度1ポイント程度の上昇を目標とした。													
_+ =	学校が楽しいと思う子どもの割合	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果 指標	• • · · · · · · • • • · · · · · · · · ·	R2	目標値	86,0	87.0	88.0	89.0	90,0	%	お 本 生				
78 TB	ト)	85.7%	実績値	88.3	88.4	89.1			/0	教育指 導課				
_	(1)	05.1%	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	和守				
	生徒を対象とした学校評価(学校生活)		の「学	校がたの	しいですか	」との質問	別に対し、	「かなり当	では	ま				
目標														
の	え方 年度の上昇率が大きかったことや生徒の主観によるところが大きいことを考慮し、上昇幅を抑え各年度1ポイント程度													
考え	とした。													
	とした。 1 (実 績 評 価)・令和2年度と比較し、1ポイント下回る結果となった。コロナ禍の中で制約のある学校生活が継続していることによ													
	り、ストレスや不安を感じている児童が一定数いるためと考えられる。													
R														
3														
年度														
及	やICTを活用した授業の第								くりれ	ි				
	(次年度修正点) ・ 令和3年度の実績値を参考	まにして、元	1和4年度	も目標値を	:上回ること	かぐさるよ	つ努めたい。							
	1(実績評価)・令和3年度に比べ0.9ポイ	ント下向ス	(は田 レ な		十垣で生物	カなる学校は	- 活め尚抗の	体成合なと	°I⊞+÷∕	つ亦ル				
	等によるストレスや不安を原						こって子似り	が形しなり	- 垛児(り夕し				
_	(次年度修正点) ・ 令和3年度が88.1%であっ						トンに奴めた	=1.1						
R 4	《外午及廖正杰》 - 13和3年及2300.17600), IJ4IIC	/ + 文 は C1 に	CTE OC		トノにカめん	_ / 10						
年	2 (実績評価)・令和3年度よりも0.1ポイ	ントト回る組	き果となっ	った。タブレ	ハット端末や	DICTを活用	した授業を	実施したこの	上切.	行事の				
度	工夫等により引き続き学びの						0101000	/CDG 07CC	_	13 - 02				
	(次年度修正点)・令和4年度の実績値を参考						に努めたい	0						
	()(\(\times \) (\times \) (\times \)	,,,	100 12	-			,,,,,,,,	•						
	1 (実績評価)・令和4年度に比べ1.6ポイ	ント上回る約	詰果となっ	った。コロフ	ナ禍前の日常	生活に戻っ	たことや学	校行事等の	制約も	ふなくな				
	り、充実したことが数値の向													
R	(次年度修正点)・令和2年度が89.1%であ	ったことか	ら、令和	6年度はそ	れを上回る	ことができる	るように努め	たい。						
5														
年	2 (実績評価)・令和4年度よりも0.7ポイ						した授業が	充実してき	たこと	たや、行				
度	事の充実等により引き続き			·										
	(次年度修正点) ・ 令和5年度の実績値を参考	きにして、令	和6年度	の目標値を	上回ること	ができるよ	うに努めたい	, J°						
	(/) =													
	1 (達成状況) B -													
		ナブ 全打	5年度1+	全和2年度	を0.7ポイン	トトロス灶	里とたった							
中														
間	(今後の対応)・ICTを活用した授業の充実	や行事のエ	夫等、学	びの楽しさ	を実感できる	るような取組	目を推進して	いく。						
I	2(達成状況) В.													
評	2 (達成私流) B+													
	(実績評価) • ICTの活用や行事等の工夫	により、令	和5年度	は目標値を	1.1ポイント	上回る結果	となった。							
価														
	(今後の対応)・引き続きICTの活用や行事	の充実等、	生徒が主	体的に取り	組み、学びの	の楽しさを実	尾感できるよ	うな取組を	推進	してい				
	<.													

				指標数	18	20	20	21	21		本的な取・主な内
2	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数	7	8	8	0	0	容	の達成状
				達成率	38.9%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	況	
				指標数	6	6	6	6	6		
01	「学びに向かう力」(の育成	達成状況	況 達成数	1	3	1	0	0		
				達成率	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6		単位	担当課
		全国学力学習状況	R2	小 目標値	99.5	100.1	100.7	101.4	102.0	ポイ	教育指
		調査(小6・中		学 実績値	96.7	99.0	92.5			ント	教育拍 導課
	101 確かな学力の向上	3)で国語・算数 (数学)の平均ポ	ポイント	校評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	-
	101 曜かる子のの同工	イント(全国平均	R2	中 目標値	103.1	103.6	104.0	104.5	105.0	ポイ	#/1757+15
		を100とした場	102.6	学 実績値	101.6	98.8	99.3			ント	教育指導課
		合)	ホ° イント	校評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	不受
			R2	小 目標値	64.5	65.0	65.5	66.0	66.5	%	#/ 45+15
		「外国人や外国の	64.0%	学 実績値	63.7	65.7	65.1			/0	教育指導課
	100 以日語教育の存史	文化に興味を持	64.0%	校評 価	× 未達成	〇 達成	× 未達成			以上	令体
	102 外国語教育の充実	ち、積極的に接し ている」児童生徒	R2	中 目標値	55	60.0	60.5	61.0	61.5	0/	**-*-*
		の割合	50.00/		54.5	53.7	53.3			%	教育指
		V)050	52.6%	学 実績値 校 評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	導課
			R2	小 目標値	90,5	91,0	91.5	92,0	92.5	0/	
					90.7	91.2	91.7			%	教育指
	103 IC T機器の効果的な活	「授業の内容がよ	90.1%	学 実績値 校 評 価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	導課
O	103 用	くわかる」と答え	R2	中目標値	85.5		86.5	87.0	87.5		
		た児童生徒の割合		学実績値	82.6		86.2	0	01,0	%	教育指
			850%	校評価	× 未達成		× 未達成			以上	導課
	0101 小中学校ともに目標例	直を下回っている。	単純な問	0				普段の授業	L 堂で文音を記		く機会
年 度 評 価 R5	を効果的に活用した打 0103 タブレット端末が導 的な方法は市内の全 0101 実生活に基づいた応解課題がある。普段の打 0102 英語の授業を通して、を効果的に活用し、 0103 タブレット端末が導 め、効果的な方法はで 0101 (達成状況) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ては身に付いていた 決していく機会を設 力授業を通して、他 受業実践を進めてい 入され、授業での活 学校で共有するなど 司的な思考力が必要 受業の中で思考力を ALTの活用を通し 外国の文化に触れら 入されてから、継続 市内の全学校で共有	。け国く用いていて、 は国く用しと問っていて、 のののでは、 ののでなっているでは、 のの	がな思考力だい。 な思考力だい。 なに触れたり を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 でいない。 でいない。	が必要な問題の、外国を学売が必要な問題の、外国を学売があるで、 のを進かであるで、 を対したのでは、 のでを選べなが、 のではないでは、 のでは、	意を解くことができることができる。 ことができたいる。 こなってきてけれる。 大陽を学んだいく。 きち帰りもも併 かについては	ことができ、 た。今後も、 おり、単純: ていく。 いしている。 めている。 せて効果的:	た。 今後は 、各校で I (な問題よりも 。 今後は、 A 今後も、各村 な活用を進む	デジタル教和 CTの活用を ち応用的な問 総合的な学習 交でICTの かていきたい	料書や を進め 問題に 習の明 の活用)。	ALT)、効果 対して 時間など 引を進
中間	O1O2(達成状況) <u>C</u>		ノト低く、	中学校は「	72ポイント	、低い。Al T	の活用を進	めているが、	、外国語に	触れる	る機会は
評	十分であるとと乖離した。	は言えない。また、	中学校	では英語と	いう教科と	しての意識	が強くなるた	こめ、 小学校	をと近い数値		
価	0103(達成状況) В-	•									
		・端末導入時に比べる を校でICTの活用を									
	723		_,,								

	\ ^	、「人として	備えたい	カ(人間	· 古. 出. 江	指標数		3		3	3	3	3		
()2	´ 性)」の育	ī成		達成状況	達成数達成率	10	<u>3</u> 0.0%	3	<u>1</u> 3.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
		主な内容	<u> </u>	管理指標	基準値	连戍卒		0.0 <u>/</u> R3	3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		工ない。			至手直 R2	目標値		87.0		88.0	89.0	90.0	91.0	—	
		つる。社会性や規	節音識の定	「近所の人や知り」	112	実績値		87.1		87.1	88.4	30.0	31.0	%	教育指
	O ₂	201 私女にもぬ		つをしている」児	86.0%										導課
				童生徒の割合	00.070	評価	0	達成	X	未達成	× 未達成			以上	.5 6/1
				「友だちのことを	R2	目標値		92.0		93.0	94.0	95.0	96.0	0.4	
	_	自己肯定感		思いやり行動する		実績値		93.1		92.8	93.7	00.0	00.0	%	教育指
	O ₂	202 いやりの心		ことができる」児	91.0%	/		· ·		1 5-1- 15	1 3-1- 15				導課
		徳教育の充	夫儿	童生徒の割合		評価	0	達成	×	未達成	× 未達成			以上	
				「自分の思いや考	R2	日標値		79.5		80.0	80.5	81.0	81.5	0.1	
		小中学校の	各段階にお	えを回りの人に伝		実績値		79.9		80.9	81.0			%	****
	O2	203 けるキャリ	ア教育の推	えることができ	78.6%			-						•	教育指導課
		進		る」児童生徒の割	10.0%	評価	0	達成	0	達成	○ 達成			以上	一一
				合											
				規範意識やあいさ					コナネ	8の中で	、しばらく	は新しい生活	舌様式が継続	売する	と思わ
		れるが、地域や家庭との連携を工夫し、一層の定着を図っていく。 O2O2 道徳の教科化に伴い、考え議論する授業や適切な評価の実施により、子供の自己肯定感が高まってきている。今後は、道徳の授業													
	R 3														
	3	の充実とともに、各教科で人権意識を高める授業を実践し、自他を尊重する態度を育成していく。													
		O2O3 学び手の視点で構想した授業の実施や I C T の活用により、社会的自立の基盤となる能力や態度が育成されてきている。今後も授業改善を一層進め、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。													
年				のの比較的あいさつ							動の工士や	 	あいさつに ^文	オオス	音説を
•		高めてい				2004IQIQIV	'° =		۷ ری	でフ圧	±3007±77 (°			390	1200M CT
度	R			のの相手を思いやる	気持ちは音	うている	3. ≤	後去道	徳持	受業物各	-数科で人権	意識を高め る	5.授業を実施	まし,白	他を賛
=177	1		度を育成して			, , , , , ,	2 0 2		. נישיו ב	X ~ (- L)	JAPI CACIE			и ОШ	10.64
評				ンた授業の実施や	CTの活用	により、	社会	的自立	この基	き盤とな	る能力や態	度が育成され	ってきている	3。今	後も授
価		業改善を	一層進め、る	これからの社会に求	められる資	質能力0	D育成	えを図っ	てし	1<.					
100				のの令和4年度より							りあいさつに	対する意識	は高い。各	学校で	であい
				進をし、引き続きあ										<u> </u>	/, <u> </u>
	R 5			のの、令和4年度より 権意識を高める授業								る気持ちは	育っくいる	。今後	食も迫
	Ŭ			した授業の実施や1								度が育成され	ってきている	5. 今	後も学
				こ授業改善を一層進											203
		0201(達成場	犬 況) B−												
		_													
				はあるが、基準値より	02.4ポイン	ント上回る	るなる	ど着実に	こ上	昇してお	らり、あいさ	つに対する	意識は高く	なって	[U]
			る。 - などは るも	こしょうほおってより	A 11/14 / A (=)	c= L \= +#	+-	+1	+11	+->1		ニニムアハノ			
		(今後の対応)	合学校である	いさつ運動の工夫や	(5)地域(5)家	姓 C 連携	を上	大し、	めし	10/10	49 る思誠を	と高めていく	. 0		
4)	0202(達成場	犬 況) B-												
			/\ /\ /\ 	J											
冒	1	(実績評価)「	増減はある	ものの、基準値より	02.7ポイン	ント上回る	るなる	ど着実に	C.E.	昇してお	い、児童生	徒の相手を	思いやる気	持ちに	育っ
=1	77		ている。												,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
<u> </u>	Ψ	(今後の対応)	今後も道徳	授業や各教科で人	権意識を高	める授業	を実	践し、	継続	的に自作	也を尊重する	る態度を育成	なしていく。		
佰	Ŧi														
IU	П	0203(達成場	犬 況) B+												
			• 全和5年度	の月標値を0.5ポイ	ントトロー	ており	白石	シ の田 (いわき	とうた田	IND I I I	ラスニとが	できる旧辛ん	上注か	答って
		() (II) (III)	• 中和5年度 いる。	シロ 信値 としい 111	ノドエ凹つ	Casy,	日ス	うしいばん	1 \04	っんで向	ラの人に弦	んのここが	「色の元里」	エルバ	H J C
				点で授業を構想し、	授業改善	ター屋准	めて	(1)	継続	的に、	ーれからのネ	†会に求めら	れる資質能	ナカの	育成を
			図っていく。	ころかいまでして	IXAWD		ے رد		ולוויבויה	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		12100100		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	312/12

						指標数	2	2	2	3	3			
(03	「命を守る	る力」の育り	或	達成状況	達成数	1	1	0	0	0			
			rda rda	<u>₩</u> ΤΩ+Κ+π	# <i>*</i> ##	達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	244 J-L	+O 1// =#	
		主な内		管理指標	基準値	口抽法	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			大に回避する	地域防災訓練に参		目標値	_	_	_	_	_	%	教育指	
	03	301 力や緊急時 育成	らいス小いノコクン	加した生徒の割合	_ 	実績値評価	_	_	_	_			導課	
					R2	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0			
		302 健康的な生 302 _差	上活習慣の定	「規則正しい生活 ができている」児	I NZ	実績値	81.6	79.0	79.3	04.0	00,0	%	教育指	
		着		童牛徒の割合	80.4%	評価		× 未達成				以上	導課	
				新体力テスト(8	R1	目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5			
			~	種目)の結果が、		実績値	63.0	79.0	68.8	11.0	77.0	%	教育指	
	03	803 運動能力の	川山上	県平均以上である	75.0%							15.1.1	導課	
				種目の割合		計 1四	× 未達成	〇 達队	× 未達成			以上		
						目標値	_	_	_	3	3			
		危険を未然	水に回避する	小・中学校におけ		- 13112							₩ 本 地	
	03	304 力や緊急時	時の対応力の	る防災訓練の実施	_	実績値	_	_	_				教育指 導課	
		育成		回数	※ 1	=== /==						1, 1, 1	-5th	
						評価	_	_	_			以上		
	0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和3年度は未実施。													
	PIO202 新しい生活様式が完美し、衛生面が担則正しい生活の重要性が認識されてきている。会後も家庭との連携が健康に関する情報の提													
	R 0302 新しい生活様式が定着し、衛生面や規則正しい生活の重要性が認識されてきている。今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。													
					<i>~</i>	1 - + + 10 40 - 1	マナナナ	コア 片女	クセッサケー	1 × 4 24+4 4-2	チの中では	ニまりか	++W	
				敵性が県平均に劣る ことで持久力や俊敏					の投業をは	しの子校生活	古の中で1年で	と割り	'9 機云	
年				惑染症拡大防止の観					られたため	令和4年	ま日標値は	Г— г	ر اح	
				と結果を基に令和5					J1 0/C/C0J1	13.10 1 12				
度	R	0302 新しい生	生活様式が定着	善し、衛生面や規則	正しい生活	が認識さ	されてきた。	今後も家庭	との連携や	健康に関する	る情報の提供	共を進	め、一	
評	1 1		着を図っている											
от		0303 引き続き	き、運動に興い	味を持ち、好きにな	れるような	取組を位	育の授業の	中に取り入	れていく。					
価														
				5年度より日曜日実									できな	
				直を「一」とした。									日士フ	
	R 5			%上回っている。規 −層の定着を図って		土冶かで	さいるだ	里生征は増え	そくいる。ラ	後も多姓と	の連携で随	尿には	利90	
	_			重目で全国平均を上		/学校でに	ナト同ス種目	が半数にと	どまってい	た 山学校に	ナ 現在のほ	収組を	纵続	
				動に興味を持ち、好							3, NITON	XIIII C	. IVER 110 G	
		0301(達成			00.,10									
		(実績評価)		ウイルス感染症拡大		点から中	学生の参加	を見送る地図	区が多く見ら	られたため、	令和3年度	. 4	年度に	
				漬がなく「−」とし が										
		(今後の対応)		ウイルス感染症拡え										
_	ь			3実施となったことに 301を廃止し、新7					こことで多り	山台の光控ル	いりならり	こうに	(20)	
_	Р	0302(達成		10 1 2 mm O (**//	CICETIE	15. O O O	7 2 DX L O	/C o						
E		0002 ()	1/(<i>//</i>											
	ی	(実績評価)	• 令和5年度	は、令和2年度の基	準値に比へ	ヾ1.1ポイ	ント下回っ	ている。						
≣.	Ψ													
		(今後の対応)	・生活リズム	な整えることの必要	要性を認識	し、今後	も家庭との	連携や健康に	こ関する情報	服の提供を進	め、一層の	定着	を図っ	
ſċ														
		0303 (達成状況)												
		/ ch / = = = / = \	・山学はブロ	は、ほとんどの種目で	不全国亚也	た トロー	アハマが	小台技术工	500/ 和中/-	レジ ェ ュア!	١٧			
		(実績評価)	「中子校 Cla	、 はこんこの俚日	(王国平均	&T∏⊃	(いるか、	小子仪 ぐは)U%性及に	ここまつ(ハる。			
		(今後の対応)	• 運動に飼用	きを持ち、好きになれ	1ろようた	取組を体	音の授業の	由に取りょう	つていく h	ロタア 塔型	い外でも体	を動:	かす機	
			会を設けてい		いしなりは	スミュース	日の文末の	十に以り八年	(C V I \ 0 1)	しんし、汉末	WY C DIA	、こまが	リタルス	
		※1新型コロナ		症拡大防止の観点な))ら令和2:	年度及び	令和3年度1	は未実施とな	ふった。地域	城防災訓練が	令和5年度	より	3曜日	

※1新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度及び令和3年度は未実施となった。地域防災訓練が令和5年度より日曜日実施となったことにより、生徒への参加の促しをしなくなったことや参加者の把握ができなくなったため、管理指標0301を廃止し、新たに管理指標0304を設定した。

空間							指標	_	5			6		6	6	6		
全人の内容	()4	- 教育的支持	後体制の充実	美	達成状況					3	2 3%	5	3	0	0		
OAO 対抗機の確正は配置 対抗性性に対す			 主な内	 容	管理指標	基準値		(4			3		J				単位	担当課
Out 日本語のの指摘が関係					教育的支援が必要	R2				8.0				8.0	8.0	8.0		
OACO		O ₂	401 支援員の記	置正な配置		7.9%					\cap							
0402 製剤機の砂粉塗化						R3			U A	- FRA	0				95.0	95.0	-	
1982 1982			400 #hith = 0.1	エルケコムノレ	研修会を通じて特別支		実績	値	10	0.00		100.0		100.0			%	教育指
10 10 10 10 10 10 10 10		OZ	402 教職員の6	州修強化	が深まったと感じた参	% 2	誣	価		_	\circ	達成		達成			IJF	
2403 例の別が前板字変換																		
図上に数学した明白 の404 いじんが成の地理			松内357㎡	1. 古学古择昌		7.9									67.5	68.0	%	教育均
0.404 いしの対策の和連		O ₂			適正に就学した児	65.1%	4				~						IV F	
ACO A DU DO 対策の推進						DΩ	٥.				^				100	100		
(A)(ことだら思う) 96(7% 評価 X 末達成 X 末達成 X 末達成 以上 等減		0	101 IVINA	±0##	由があってもいけ	n∠				-					100	100	%	教育指
1872 187		U2	104 (100)XIJĒ	を できまれる おり おり はい こうしゅう はい こうしゅ おいま おいま おいま しゅう はい		96.0%	4				×	-	×				以上	
A					児里生徒の割合	R2	٥.	-							142	1.37		
						4.000/	学 実績	値	2	2.43		2.69		4.78	1,12	1.01		
3 0401 回播間は上回ったものの、今後も更なる支護自能電の万まを図るため、実施的に一般では日間では、大き様と、大き様と、大き様と、大き様と、大き様と、大き様と、大き様と、大き様と		O	405 不登校対策	策の推進							X		×		E 06	E 01	以下	- →M-
0401 目標値上回ったものの、今後も更なる支援員配置ので大き図される。最初の19世間形態等も研究していて、 0402 円3は日構造の設定ができていなかったため、計価は「一」とした。今後も専門的な関係が表していて、 0403 例 学校が作で選択しているがありませま。 19					山坑平										5,06	5,01	%	
0402 R3は日経過の設定ができていなかったため、計画は「一」とした。今後も専門的な知識が浸まるような研修の実施に努める。 0403 学校方作で雇用している特別は接受要アドバイサージ制的の活用をしたり、特別な理学や規則のご問を利限が要は用したりしなが ら、保護を心の面接を積み重ね、円温な数学支援を並かていく。 3 0404 目標値を下回ったものの、矛柱たらのの、大統の正と数かでいく。 0405 子校文はでいしめを許さない労働策を入り、未然的正に姿かでいく。 0405 子校で以際生徒の心理を持入が登場を受いることでは当業の悪化に動止めを対けていきたい。 0406 日本の影響を受いているが、生きないでもであり、特別な支援を受きとしているが正生をは理か期側にあるため、今後も丁申に実施機畫を行い、 0407 日本観音を達成することでは正常・特別な支援を受きとしているが正生をは理か期側にあるため、今後も丁申に実施機畫を行い、 0407 日本観音を達成することでは当業の悪化に動止めを対けていきたい。 0407 日本観音を達成することでは当業の悪化に動止めを対けていきたい。 0407 日本観音を注意しているが高なから、今後も野の方法を担じている。 0408 小説を対象を言な一方・ネーラーや制力支援の責き支援の不変をしているが正生をは理か期側にあるため、今後も野の方法を担じている。 0408 小説を対象を言なの子供たちのいひにつずする無限は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも通常教育の充実を修定でいない。今後も野の方法をあるいたの、今後も野の方法を対しているが、全国や原の遺跡率より増え幅はいさくなっている。これ以上出現業が増えないよう。 0405 子を設は実達は全性が起ないように制度の対象を大力にしていく。 0405 不管投出策率は存在を減る支援負配置の方実を図るため、業務的音や雇用形態等を研究していく。また、支援負のスセリンアンのための発生を実しているが、全国や原の遺跡率より度不能がある。教養員の特別支援教育への関いは高く、所修の必要性を実 0407 利用における特別を支援を必要とする別差生には年の定期傾向にある。教養員の特別支援教育への関いは高く、所修の必要性を実 0408 新学支援を必要とはでいるが、当まなが大力が過去ないといるが、全国や原の境跡を支援でいく。 0408 新学支援を必要とはいるが、生きなが大力が過去ないと対象が大力を受けるといるがある。 0408 本学を表しましているが、当まなが大力が関係をあっていく。 0408 赤学女を必要とはないましているが、生をからないましたがあっている。これ以上出現率が増えないよう。教授の不力なの理主に対ないたり、一定の表に関するスキルアッフを組分したのよう。教授員の特別支援教育に関するスキルアッフを組分した。分別を実施していく。 0409 (達 疎 妖 沢)							0	価	× 未	達成							以下	導課
日																	タかえ	z
3 0404 目標的を下向ったものの、子供たちのいしかに対する意識は高い、遺物浸棄の方実等により、子供のたちの人権破党を一層高め、学校全体でいしめを許さない強調を多くり、大統則に区数でいく。 0405 不登校児童生徒の出現率は、全国的にも悪化の一巻を辿っており、学校だけでできることも競られるので、来年度以間は浸離や外部と開発と学校との連携を変めることができたが、特別な支援を砂髪としている児童生徒は間か傾向にあるため、今後も丁寧に実施調査を行い、2011 目標協を譲することができたが、特別な支援を砂髪としている児童生徒は間か傾向にあるため、今後も丁寧に実施調査を行い、2012 目標協を譲することができたが、特別な支援を砂髪としている児童生徒は間か傾向にあるため、今後も丁寧に実施調査を行い、2013 所が学り変養を含まな「肝臓の大薬を受っていく。 0402 特別支援教育フーティネーターや特別支援教育支援会等を対象とした研修会を複数回実施した。教職員の特別支援教育への関心は 2013 市が学り支援会会会で議論する件数は強加傾のにある。今後も、作格別支援アドバイザーの巡回相談等を効果的に活用し、適正な利 2014 目標間は下回ったものの子供たちのいとがは実施したりましている。 2014 日間間は下回ったもののからないまの思か到金をプロレーション・学校全体ではいめが持ちない特別を受け、1014 日間によりでは、1014 日間によりでは、1014 日間によりのより、1014 日間によりのよりによりを開発している。 2015 日間によりのよりを表しているとのよりを表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま			0403 園、学	校が市で雇用し	している特別支援教	育アドバ	イザー	訪問	の活用									
学校全体でしためを許さない登田窓をつくり、未然的上に努めていく。 O405 年登校児童生性の出現率は、全国的にも影化の一意を辿っており、学校だけでできることも殴られるので、来年度い隣は福祉や外部機関と学校との連携を変めることで出現率の悪化に強止めをかけていきたい。 O401 目標値を連抜っることができたが、特別な大理を必要としている理単生使は関連関係しあるだめ、今後も丁寧に実施調査を行い、指導の光異を図っていく。 地域の光異を図っていく、指導の必要性を実施しているため、今後も田崎の方葉を図っていく。 A040 目標値は下回ったものの子供たちのいじめに対する意識は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも道感教育の方漢等を図っていく、学位全体でいじめは許さない思想をつくり、未然助止に契めていく。 O405 日間個は下回ったものの子供たちのいしかに対する意識は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも道感教育の方漢を図っていく、学校を対し時は計す程度より強いしているが、全国を対しました。 O405 日間個は下回ったものの子供たちのいいとがに対する意識は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも道感教育の方漢等を図っていく、学位全体でいじめは許さない思想をつくり、未然助止に契めていく。 O405 日間個は下回ったものの。今後も受える支援員前の方法を図る方法というの。これ以上出現率が増えないよう、新規の子を授程を生徒が仕ないように対助対している。 O407 日間個は下回ったもののうなとなる支援員前の方法を図る方法という。 O407 日間個は下回ったもののうなとなる支援員前の方法をの方式を図ったが、対していく。 O407 日間個は下回ったもののが表すの記を表切している。 O407 日間個は下回ったもののが研究を図っている。 O407 日間の方法の数字を選を必要とが表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま										游徒	拉巴里	その充実	空に	- F 10	子供のたち	の人佐成営	5 — 産	宣か
### 1		0	学校全位	体でいじめを記	許さない雰囲気をつ	くり、末	然防止	に努	いつる	١< 。								
4011 目標値を達成することができたが、特別支援を必要としているが設置生徒は増加傾向にあるため、今後も丁寧に来説開査を行い、指導の代業を図っていく。 4022 特別支援教育コーディネーターや特別支援教育支援員等を対象とした研修会を複数回実施した。教職員の特別支援教育への関心は 内403 作が学文提委員会で審論する件数は増加傾向にある。今後も、市特別支援教育の大変等の図っていく。 40403 作が学文提委員会で審論する件数は増加傾向にある。今後も、市特別支援が各元数化にも道徳教育の充実等を図っていく。 40404 目標面は下回ったものの子供たちのいじめに対する影談は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも道徳教育の充実等を図っていく。 40405 不発校出類率は特定度より増加しているが、全国の中間加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、対象の不登校出資率は特定度より増加しているが、全国の中間加率より復発幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、初級の不登校に基準を制度していく。 40401 目標面は上回ったものの、今後も悪なる支援員配置の充実を図るため、業務内管や雇用形態等を研究していく、また、支援員のスキルアシップのだめの財務も主義性といく。 40402 市内における特別は支援を必要とする児童主徒は年々増加傾向にある、教職員の特別支援教育への間心は高く、研修の必要性を実める4043 航学支援を必要とする児童主権団をいたが大きを図っている。表現の特別支援教育の向心は高く、研修の必要性を実の4043 航学支援を必要とする児童主徒団をいたが、大きの中間の増加にある。教職員の特別支援教育の方法がにも道徳教育の4045 昨年度と同様に、不登校出現率は同時度より増加しているが、全部や県の増加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が製なないよう、新規の不登校児童生徒が出ないように初期の対応を大切にしていく。 4040 作年度と同様に、不登校出現率は同時度より増加しているが、全部や県の増加でよるよう保持のにある。今後も更なる支援員配置の充実が必要と値としている。今後の対応)・支援員の特別支援教育コーディネター連絡協議会や特別支援教育支援員の特別である。分後も更なる支援員配置の充実がしている。「今後の対応)・支援員の特別支援教育と下により、特別支援教育のの傾心は高く、研修の必要性を実施している。 (今後の対応) ・ 市がにおける特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予敬される、教職員の特別支援教育への類談や理像の後の表別を実施している。 (今後の対応) ・ 市がにおける活が、発展を表別ではないの表別を対している。 (今後の対応) ・ ・ 第番階導教室への入騒が増加傾向にあり、就学支援を員会の判定が適正に行われたと考えられる。 ・ 第番階導教室への入騒が増加傾向にあり、就学支援を員会の判定が適正に行われたと考えられる。 ・ 第番階導教室への入騒が増加傾向にあり、就学支援を制定がが通に行われたと考えられる。 ・ 第番階等教室への入騒が増加減向にあり、就学支援を開発している。 (今後の対応) ・ ・ 予証を持定を関している。 (今後の対応) ・ ・ 予証を持定を関している。 (今後の対応) ・ ・ 予証を持定を関している。 ・ 予証を持定を対している。 ・ 予証を持定を対している。 ・ 予証を持定を対している。 (今後の対応) ・ ・ 予証を持定を対している。 ・ 予証を対している。 ・ 予証を対しないる。 ・ 予証を対しない													るこ	とも限	られるので、	、来年度以降	発は福	祉や外
402 特別支援教育コーティネーターや特別支援教育支援員等を対象とした研修会を複数回実施した。 類論員の特別支援教育への開心は													向に	あるた	め、今後も [®]	丁寧に実態	周査を	行い、
高く、研修の必要性を実態しているため、今後も研修の充実を図っていく。 1 日						+111 #4 #5	·+\(\time\) \(\to\)		+ / 2 -	+- T∏	ロルテン	\+\\\		3+t=1 +t	##II#I = 01	++ □□++∞ #/-2	<u> </u>	. 88 . J . J
図 4 0403 市就学党援委員会で審議する件数は増加傾向にある。今後も、市特別支援アドハイザーの巡回相談等を効果的に活用し、適正な判定しておけていく。			高く、社									云と複数	.回.美	き他した	。教職貝(/)	特別文援教育	ョハの	関心は
19	度	R	0403 市就学	支援委員会で	審議する件数は増加	傾向にあ	る。今	後も	、市特	別支	援フ	ァドバイ	ザー	-の巡回	相談等を効果	果的に活用し	ン、遃	正な判
1人。学校全体でいしめは許さない雰囲気をつくの、未然防止に努めていく。 0405 不登秋出現事は辞年後より増加しているが、全国や県の増加率より増入の個は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう。 新規の不登校児輩生徒が出ないように初順の対象を大切にしていく。 0404 日標値は上回ったものの、今後も更なる支援員配置の充実を図るため、業務内容や雇用形態等を研究していく。また、支援員のスキルアップの定めの開始も実施していく。 0404 市内における時間は支援を必要とする内質量は自年内増加傾向にある。数職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実態しているため、今後も研修の充実を図っていく。 0403 就学支援を必要とする内質は12階の行うを図っていく。 0404 特年度と同様に、目標値は下回っていくの子供たちのいじめに対する意識は高い、子供たちの人権感覚を高めるためにも適慮教育の元実を図っていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 0404 特年度と同様に、日標値は下回ったものの、特別な支援を必要とする児童生徒は年内増加傾向にある。今後も更なる支援員配置の充実が増えないよう。 1 日標値は上回ったものの、特別な支援を必要とする児童生徒は年内増加傾向にある。今後も更なる支援員配置の充実が必要と感じる。 今後の対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			<u> </u>		カの子供たちのいじ	めに対す	る音識	は高	5(1) -	2世た	50	り人権感	肖ゟ	高める	ためにも道	徳教育の存置	主等を	図って
新規の不替校児童生徒が出ないように初願の対応を大切にしていく。	哥平		いく。	学校全体でいり	じめは許さない雰囲	気をつく	り、末	然防	近に努	めて	111	` 。						
0401 目標値は上回ったものの、今後も更なる支援員配置の充実を図るため、業務内容や雇用形態等を研究していく。また、支援員のスキルアップのための研修も実施していく。	価										幅(さいさく	なっ	ている	。これ以上は	出現率が増え	えない	よう、
0402 市内における特別な支援を必要とする児童生生は年内増加傾向にある。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実施しているため、今後も断修の充実を図っている。			0401 目標値	は上回ったもの	のの、今後も更なる	支援員配	置の充	実を	図るた	め、	業	多内容や	雇用	形態等	を研究して	ハく。また、	支援	員のス
(会 (公 () (会 () () () () () () () ()							:在万별	力几化百	向にお	5ス	初田	第号の性	민	採 教育	への関心は	喜く 研修(アルド亜	性を宝
3			感して	いるため、今往	後も研修の充実を図	っていく	0											
0404 昨年度と同様に、目標値は下回ったものの子供たちのいいとがはする意識は高い。子供たちの人権感覚を高めるためにも適慮教育の方実等を図っていく、学校全体でいとめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。		K 5				あり、園	内•校	内の	就学艺	接に	放	ノ、特別	支援	アドバ	イザー派遣	事業を継続し	ンて行	い、円
0405 昨年度と同様に、不管校出現率は前年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、新規の不登校児童生徒が出ないように初期の対応を大切にしていく。)				の子供た	:ちのい	じめ	に対す	る意	識に	は高い。	子供	たちの	人権感覚を	高めるために	こも道	徳教育
0401 (達成状況) A																ている こも	2 IV F	山田家
・														ると言う	110(4)	CV100 C1	UVI	.ш"т
必要と感じる。			0401 (達成	状 況) A														
必要と感じる。			(実績評価)	目標値は上	こ回ったものの、特別	引な支援を	を必要の	とす.	る児童	生徒(は年	マ増加	傾向	にある。	今後も更な	なる支援員両	置の	充実が
0402 (達成状況) A (実績評価)				必要と感じる	3.											, 021,221		
中中では、			(今後の対心)	・ 文援貝の特	別文援教育に関する	5人干ル.	アツノヤ	全狙.	つにめ	、 6升1	修を	実施し	CUI	<.				
中 (今後の対応) 解が深まったと感じている。 ・市内における特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予想される。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。 〇4〇3 (達成状況) ・市内における特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予想される。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。 (実績評価) ・通級指導教室への入級が増加傾向にあり、就学支援委員会の判定が適正に行われたと考えられる。 (今後の対応) ・審議件数の増加に対して、園・校内就学支援において審議の必要性を精査するよう努める。 (実績評価) ・目標値は下回っているが、過去3年間いずれも差は5ポイント以内であり、令和5年度については、過去2年間と比べると一番高い実績値を示している。 (今後の対応) ・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 (実績評価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			0402(達成	状 況) A														
中 (今後の対応) 解が深まったと感じている。 ・市内における特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予想される。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。 〇4〇3 (達成状況) ・市内における特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予想される。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。 (実績評価) ・通級指導教室への入級が増加傾向にあり、就学支援委員会の判定が適正に行われたと考えられる。 (今後の対応) ・審議件数の増加に対して、園・校内就学支援において審議の必要性を精査するよう努める。 (実績評価) ・目標値は下回っているが、過去3年間いずれも差は5ポイント以内であり、令和5年度については、過去2年間と比べると一番高い実績値を示している。 (今後の対応) ・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 (実績評価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			(宇緒証価)	• 性則去採剃	ガ奈コーディネータ	_油셇拉	美会かり	生日1:	古垤約	育古:	运品	研修空	一矣	かけるま	物品件 性足	古垤数夸△	の知	部わ田
中			(天順計圖)	解が深まった	と感じている。													
0403 (達成 状況) B+	_	_	(今後の対応)											される。	教職員の特	詩別支援教育	への	関心は
(実 績 評 価)	4		0403(達成			110/200	<u>、フ阪</u>	<u> Билі</u>	修り元	天で	<u> 図り</u>	(010	•					
(今後の対応)	唱				<u>-</u>			V		A = 1								
(主義 評価)	=7		(美額評価)	• 通級指導教	(室への人級が増加)	須回にあり	り、就	了文:	援委貝	会の	判证	が適止し	∟行	われたと	こ考えられる	5.		
(実績評価) ・目標値は下回っているが、過去3年間いずれも差は5ポイント以内であり、令和5年度については、過去2年間と比べると一番高い実績値を示している。 (今後の対応) ・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 (実績評価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。 ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。	<u></u>	"	(今後の対応)	•審議件数 <i>0</i>	D増加に対して、園	• 校内就	学支援	こお	いて審	議の	必要	性を精	査す	るよう勢	らめる。			
(実績評価) ・目標値は下回っているが、過去3年間いずれも差は5ポイント以内であり、令和5年度については、過去2年間と比べると一番高い実績値を示している。 ・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 (実績評価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。 ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。	偛	5	0404 (達成	火 况) R−														
と一番高い実績値を示している。 (今後の対応) ・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 (実 績 評 価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。 ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。					_				۱ .			L 1		:		L \2 / =		1 =
			(実績評価)				すれも	き差に	ま5ボー	イント	·以	りであり)、 f	和5年	せについて	は、過去2年	間と	北べる
じめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。 O4O5(達 成 状 況) D (実 績 評 価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は 小さくなっている。 ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			(今後の対応)	子供たちの)人権感覚を高めるが	きめに、				機会	に人	権を意	哉で	きるよう	うな指導をし	していく。学	校全	体でい
(実績評価) ・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。 (今後の対応) ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			O406 (\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	じめは許さな														
小さくなっている。 (今後の対応) ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			0400 (達	(人) (人)														
(今後の対応) ・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。			(実績評価)			こある中で	で、不登	登校に	出現率	は昨年	年度	より増加		ているだ	が、全国や県	見の増加率よ	り増	え幅は
			(今後の対応)			を活用し,	福祉	カ外:	产(] 機関	と学	校と	の連携	を深	めること	で出現率の)悪化を防い	でい	<.
		2												.,,,,,,,,			'	••

	05 地域社会との連携推進 達成状況 達成数 1 1 3 0 0													
()5	5 地域社会との連携技	進	達成状況	達成数	1	1	3 100.0%	0	0				
		 主な内容		基準値	達成率	50.0% R3	33.3% R4	100.0% R5	0.0% R6	0.0% R7	畄位	担当課		
		エはいら	本市のことが好き	R3	目標値	-	89.2	89.5	89.7	90.0				
	O!	501 郷土愛の醸成	と答えた児童生徒		実績値	89.0	89.0	90.9	33.1	33.5	%	教育指		
			の割合	% 3	評価	_	× 未達成	〇 達成			以上	導課		
			地域で行われる活	R2	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	%			
	O	502 地域活動への積極的な 参加	₹ 動に積極的に参加 している児童生徒	CO E0/	実績値	58.0	59.9	65.5			/0	教育指導課		
		多加	の割合	60.5%	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成			以上	等味		
			地域の広報誌や掲	R2	目標値	85.0	90.0	95.0	100	100	0/			
	\cap	503 学校運営に関する情報			実績値	100	100	100			%	教育指		
	Ů.	3003 発信 	で情報発信してい	80.0%	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	導課		
			る学校の割合		J									
		0501 社会科の授業や地域	或学省を通して、子供 8を実施するとともに	たちは伊東	である特徴	数や他地域と	の違いを知	り、艮さや	愛看を感じ [*]	ている。今後	後も、 ロ 畑 に	発達段		
			習を実施するとともに ったため、評価は「−		の感染が	「沢を考慮し	がから、地	以入付の活	用を進めて	ハく。 R314	.日悰1	旦の設		
	R	0502 新型コロナウイル	ス感染症拡大の影響が	<u>, こした。</u> ら、地域σ)行事自体	が中止にな	ることが多	く、児童・	生徒の地域行	う事への参加	川機会	は限定		
	3	3 されてしまった。学校は、可能な方法で地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫はしているが、感染防止の観												
	点から難しい面も多い。													
/ _	O5O3 全校が回覧板や地域の掲示板を通じて情報発信をした。今後も継続して情報を発信していく。													
年		0501 生活科や社会科なる	この生は色図を多して	・フルたた	1十/平市 1	この性性をかれ	ままずとの治	いちかん	卿士惡友奈	/ ブハフ	<u>>%+</u>	· 35/辛印		
度			_の地域子音を通して 習を実施するだけでな					いで知り、	郷工変で目ん	v (via	フ仮て	光连段		
= 777	R	0502 新型コロナウイル						く、児童・	生徒の地域行	う事への参加	川機会	は限定		
評	4		今後、学校では地域人											
価		0503 学校だよりを通じてもと、令和5年度も	て、各校の教育活動を 5継続して地域への情				できた。地	域総がかり	で子どもを育	育てていく	という	理念の		
		0501 令和4年度よりも1 いを知り、良さや	.9ポイント上回ってい 受着を感じている。今											
	R 5	0502 地域の行事が再開するど地域とのつなが	する地域が増えたこと がりを持つための工夫			b域行事へσ	参加機会も	増加した。:	今後、学校	では地域人材	才を活	用する		
	Ŭ	0503 学校だよりや学校ト	IPを通じて、各校の			に情報発信	することが	できた。令和	06年度も継	送続して地域	への	青報発		
		信を大切にしている												
		0501 (達成状況) B	+											
		 (実績評価) ・令和7年	度の目標値を0.9ポイ	ントト回っ	た。子供	またちは伊東	市の特徴な	他地域との	違いを知り.	良さや愛え	善 を感	いてい		
		る。	,	· · ±	7,00 5 1	(/C) (0.1) /	(1) (2) (3) (3)	1020270	X_V. C/L J (, ACT X	,_			
_		(今後の対応) ・社会科なの活用を追	生活科などの地域学	習の充実を	図るため	に今後も、	発達段階に	心じた地域学	学習を実施す	るとともに	、地	域人材		
4	_	O5O2(達成状況) B	+											
R		 (実績評価) ・令和7年	度の目標値を0.5ポイ	ント上回っ	た。地域	域行事への参	参加機会が増	え、地域と	のつながりる	を大切にする	る意識	を持っ		
1	V	ている。												
	(ラ後の対応) 「・いる続き、学校では地域人材を活用するなど地域とのフながりを持つだめの工大をしていて。													
佰	П	0503(達成状況)	<u>. </u>											
		(実績評価)・学校だよ	りや学校HPを通じて	、各校の教	枚育活動を	を地域の方に	に情報発信す	ることがで	きた。					
		(今後の対応) ・引き続き	、学校だより等を通	じて各校の	教育活動	を地域に発	信していく。	,						

※3 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

担当課	生涯学習課			施策4-30	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3 生涯学習活動の推進		指標数	11	11	11	11	11
月指す姿	市民が生涯にわたる学びや活動に参加し、豊かさ	達成数	2	2	2	0	0
日担り女	を享受できる	達成率	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%

				指標数	2	2	2	2	2	1		
1 1	成果指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0	1		
• '	NN1010 (111 1)			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1		
		TH 0 # # 1 10 # 17 1	基準値	7,577	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
成果		動の推進」に満足し	R2	日標値	75.3	75.9	76.6	77.2	78.0			
指標		割合(市民満足度調		実績値	72.8	69.4	61.4			%	生涯学	
1	査)		74.7%	評価		× 未達成				以上	習課	
目標	店 市民港足度調本	全を参照することにより、 である。	L 市民の由が					音目や証	L 価を抑握す		上が	
考え	可能となるため		152005 17	<i>5 5</i> //////		C1 0/C/A+6		יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	و عرادات س	,	C/3	
370	/5		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
成果		10 - E + (+) E W	R1	日標値	2.88	2.92	2.95	3.28	3.76			
指標	巾氏一人当に	りの図書貸出冊数		実績値	2.70	2,57	2.50	0.1.0	0	₩	生涯学	
2			2.81冊	評価	× 未達成		× 未達成			以上	習課	
	総貸出数を新図	図書館の開館に向けた令和	5年度ま					和6年度	120.000) ,	令和	
	7年度は30.00	OO冊増やすことを目標と										
目標		総貸出数二令和元年度19										
考え	500 L -60 0	00人②から、①÷②≒2.		.,	•				,			
ちん.												
		新型コロナウイルス感染症	拡大の状況	から、各	る種講座等に	ついて中止	せざるを得る	ない状況が発	発生したこと	とも影	響した	
	=	ものと考えている。										
R 3		withコロナを踏まえ、感染れるよう努める。	対策を的確	ミに実施し	, 事業をて	できる限り展	開すること	で、市民の智	当様の満足原	度向上	が図ら	
年												
反	(勿年度終正占)	新型コロナウイルス感染症	に対する感	沈动生去	加坡广宝板	こながに	トルタノの	も足が利用で	ベキストスき	≠ ‡ ‡	ポータ	
	8	める。									以に劣	
1(実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種講座等への参加が減少したことが影響したものと考えている。												
	(次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類へと移行するのを踏まえ、市民の皆様の満足度向上につながるような各											
R 4		・利空コロアフィルス念条症 種講座の実施に努める。	UJAX VJAXV I	刀. 3類,	(C191J 9 &	ので始みん	、中氏の白生	家の何に反い	当上に ノはん	1.00 Q	J&音	
年		新型コロナウイルス感染症	拡大の状況	からま	を企会数が減	加したこと	も影響した。	上老えている	3			
度		利主コログライルス心未足	J/A/ (0)1/(//	10 J	N	19 0/222	しか 自 し /こ		٥٠			
		より多くの市民が手に取り。	たくなるよ	うに企画	展示など配	架に工夫を	し、多くのi	市民が利用し	<i>」</i> たくなる。	ような	図書館	
		運営に努める。 ・コロナ禍で休止及び解散し	た団体が名		ナ前に比べ	* 活動団体	が減ってい	ステとが直角	日と孝ラでし	12		
			に回性ルタ	· · ·	י אורדונים ליי	()口到四个	13 1194 J CV 12			100		
R	(次年度修正点)	・市民が団体を検索しやすく	、また参加	しやすい	1情報提供を	心掛け、市	民満足度の「	句上が図れる	るよう努める	3.		
5 年	2 (実績評価)	来館者数は増加しているが。	. 貸出冊数	の増加に	まで結びつ	いていない	ことが考えて	ている。				
度	_ ()	7130 G 3010-200 C C V 10/0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
	(次年度修正点)	• 今後も、企画展示など配架	に工夫をし	、より多	くの市民が	手に取り、	読みたいと	感じるような	図書館運営	営に努	める。	
											-	
	1(達成状況)	D										
ф	 (実績評価)	・ 年々市民満足度は減少傾向	であり、講	座等への	参加率や活	動団体の減	少が原因と	考えている。				
4												
間	(今後の対応)	・市民が団体を検索しやすく	、また参加	しやすい	\情報提供を	心掛け、市	民満足度の「	句上が図れる	るよう努める	3.		
評	2(達成状況)	D										
価	(実績評価)	年々貸出冊数は減少傾向で	あり、読書	離れや若	5年層の利用	者数の減少	が原因と考え	えている。				
ш		A ///								V 1 = ±	–	
	(今後の対応)	• 今後も、企画展示など配架	に工夫をし	、より多	くの市民が	手に取り、	読みたいと	感じるような	2凶書館運営	宮に努	める。	

2	. ;	基本的な取組 <i>(1</i>	2桁コード)	・主な内容(4桁二	1– K)	指標数達成数	9	9	9	9	9	組・	主な内	
_				- T.9613E (-111-	, , ,	達成率	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	. 答0 況	D達成状	
						指標数	2	2	2	2	2			
(01	生涯学習機	機会の提供		達成状況	達成数	1	0	0	0	0			
						達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		生涯学習自	主事業等の	生涯学習自主事業	R1	目標値	2	3	3	4	4		生涯学	
	O.	101 充実	ユチネ	の実施回数	20	実績値	0	2	2				習課	
					-	評価				07	07	以上		
		400 生涯学習指	賞者等の発	「まなびのとび	R1	目標値	63 65	65	65	67	67	人	生涯学	
	0	102		ら」に登録する指 導者の数	63人	実績値		46	49				習課	
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □												
		OTOT 新望コロナワイルス感染症拡入の影響により事業を中止したにめ、自標値を達成できながった。												
年	3 0102 市HP等で広く周知を図ったことなどから目標を達成することができた。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り、指導													
		0101 新型コロ	コナウイルス原	感染症拡大の影響に	より事業を	中止した	ため、目標	値を達成で	きなかった。	。令和5年度	まについては	魅力な	ある事	
度	R			するよう努める。										
言平	1	0102 新型コロ	コナウイルス	感染症拡大の影響や	生徒数の洞	少により	活動の継続	が困難とな	ってしまった	た指導者が	非常に多かっ	ったた	め、目	
				った。令和5年度に			, 5							
価	l R		†画して、実施 養を計画してし	施することが出来な ハく。	かったため)、令和6	年度につい	ては魅力あ	る事業を数多	多く企画実施	でするよう努	§め、 [≤]	合和7	
	5			感染症拡大の影響や	生徒数の洞	少により)活動の継続	が困難とな	つてしまった	た指導者が	非常に多かっ	ったた	め、目	
		標値を過	達成できなかっ	った。令和6年度に	ついては広	報いとう	や市HP等に	こより広く周	知を図り、	指導者登録	数を増やし	ていく		
		0101(達成)	状況) D											
		(実績評価)	新型コロブ	ウイルス感染症の影響	影響もあり	、事業を	中止したこ	とや新規事	業の計画及で	が実施が無力	いったことか	「日標値	首に至	
C	Þ	() () () () () ()	らなかった原	因と考えている。			. —	_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			-,			
F	間	(今後の対応)	• 令和6年度	中に次年度に実施し	たい企画の	の立案及る	び実施に努め	かる。						
'	ĦJ			-										
ē	平	0102(達成)	状 況) <mark>C</mark>											
1	₩	(実績評価)		ウイルス感染症拡大 関値を達成できなかっ			減少により	活動の継続だ	が困難となっ	ってしまった	指導者が非	常に多	多かっ	
		(今後の対応)		にで達成できなが にびらや市HPを活用			2に生涯学3	21信却を担任	オスたか	再新組度の	曲加二奴か	z		
			44000	このの あきして名が出	10, 473	בן ונט 🦯 כ	マルエ 生子音	当時報で促出	() (() (() () () () () () ()	丈 制则反Ⅵ.	垣川に方の7	o		

					指標数	2	2	2	2	2					
()2	市民の自主的生活	E学習活動の推進	達成状況	達成数	0	0	0	0	0					
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		 主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
			お 市民大学・いでゆ大	R1	目標値	500	1,500	1,550	1,600	1,650		41- XT XX			
	02	201 市民向け学習講座 室の内容の充実	学・楽しく学ぶ子育て	1.0041	実績値	261	672	1,067			人	生涯学習課			
		至の内合の元夫	講座延べ参加者数	1,604人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	百味			
		学習成果を生かし	た地 コミュニティセンター	R1	目標値	14,000	14,000	14,050	14,100	14,150		#:F24			
	Oź	202 域における学習交流	流機 及び生涯学習センター	14,2320	実績値	8,432	10,529	11,338				生涯学習課			
		会の創出	の使用回数				× 未達成				以上				
			ルス感染症拡大の状況を												
	R		。 令和4年度については	は感染状況を	見極めた	ながら、感染	対策を講じ	た上で可能	な限り実施す	するとともに	こ多く	の方に			
	3	参加いただくよ		-^^1 + HDB	34++			++ +	^WH###	NO+ 045	+ + +				
年			ルス感染症拡大により体 を通常開館できるよう努		しもめった	こにめ、日帰	を達成でさ	なかった。	ラ後は感染物	大次を見極8	ひなか	ら、			
-					chill t	=ことか タ	活達成への	矣加た ∱ラ	ス方が名かっ	ったことかに	<u> </u>	描信 た			
度		O201 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部事業を中止したことや、各種講座への参加を控える方が多かったことから、目標値を 下回る結果となった。令和5年度については各種講座・教室の内容を充実し、多くの方に参加いただけるよう努める。													
	R														
評	4														
価		今後は従来通り	の開館及び施設利用がて	ぎきるように	すること	で目標達成	に努める。								
ш			増やしたことで、実績値									学講座			
	R		施回数を抑えたことから												
	5		は上昇傾向にあるが、体							今ある団体	本がよ	り自分			
			を向上させていくために	.も、団体0.)沽動註約	世を周知でき	るより中日	2の更新に発	හිරිරු						
		0201 (達成状況)	D												
			コロナウイルス感染症拡	士を北見に	古光を中	ルレモート	カースの然っ	는 Nie 초하기 프리엄	シェクの中的	こち ミナフ た ニ	· L+11				
d	þ		コロナワイルス燃業症拡 至らなかった。	人で月京に	事果で中	III UILLE	い、ての仮す	び旧野に凹に	思しノノ夫爪	は全部のたこ	_C/J''	o, H			
			内容について、定番の見	直し、乃7ぎト	レンド押	据を心掛け	幅広い魅っ	力的た謙成を	企画すると	アナギに 利	田老	ΛΪMeh			
F	1		等を効果的かつ快適に操									2 4460			
=		0202 (達成状況)	D												
ē.	4	2_2_ (X_ /X /X /X /X /X /													
佔	Fi	(実績評価) ・新型コロナウイルス感染症拡大による休館により、活動を休止や解散した団体があり、年々使用回数は増加傾向にある													
10	_	もののほ	目標値には届いていない	と考えてい	る。										
			ある団体の活動を、より	多くの市民	に周知で	きるようま	なびのとび	う・市HP・	ワクワク伝	言板の充実	を図っ	てい			
		<.													

						指標数	3	3	3	3	3			
()3	3 生涯学習回	団体の情報	提供の充実	達成状況	達成数	1	1	1	0	0			
						達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%			
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
	_	広報誌や9	SNS等を活	広報誌やSNS等を活用	R1	目標値	16	17	18	19	20	件	生涯学	
	O:	301 田した情報		した生涯学習団体の情 報提供件数	16件	実績値	13	31	29				習課	
		7.5 - 7 - 115 11		111111111111111111111111111111111111111			× 未達成		〇 達成	0.10	0.10	以上		
	~	302 市内サーク	7ル活動団体	「まなびのとびら」	R1	目標値	290 295	300	300	310	310	団体	生涯学	
	U	502 の情報収算	ŧ	に活動状況を掲載す る団体数	288団体	実績値評価		240 × 未達成	239 × 未達成			以上	習課	
		上江	情報誌やホー	ホームページ「ま	R1	目標値	10	10	12	12	12			
	Ω:	エルチョル303 ムページに		なびのとびら」の		実績値	2	2	0	12	12		生涯学	
	•	信	201011311070	更新回数	80			× 未達成	_			以上	習課	
		0301 新型コロ	コナウイルス原	感染症拡大により活	動を自粛し					できなかった	こ。団体の₹	音望に	より後	
		援事業	を市HPで紹介	する取組みを令和る	3年度から開	見始して を	おり、この耳	収組を周知す	るとともに	、積極的な	広報に努める	る。		
	R	O302 市HP等	で広く周知を	図ったことなどから	ら目標を達成	成するこ	とができた。	。引き続き』	な報いとうな	PHP等により	の広く周知を	を図り	団体登	
	3	録数をは	曽やしていく。											
		0303 新型コロ	コナウイルス原	感染症拡大により活	動を自粛し	ている国	体が多かっ	たことから	目標を達成	できなかった	こ。 今後は原	感染状	況を見	
		極めなれ	がら、積極的な	な広報に努める。										
				援事業を市HPで紹介				骨始しており)、令和4年	度はこの取	組の周知が	進んた	ごことか	
		ら、目標値を大幅に上回った。今後も積極的な広報を継続する。 												
年	R	0302 まなびのとびらに掲載したことにより加入者が大幅に増加したため一時的に掲載を停止する団体や、新型コロナウイルス感染症に												
度	4	より活動を縮小するため掲載を停止する団体か多数めったため目標値を大幅に下回った。5Iさ続さ広報いとつやHP等により広く												
評		周知を図り団体登録数を増やしていく。												
価		0303 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことから目標を達成できなかった。引き続き広報いとう やHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう。定期的な更新に努め												
		0303 新空コロデリイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことがら自標を達成できなかった。引き続き仏報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう、定期的な更新に努めの301 団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組を令和3年度から開始しており、令和5年度はこの取組の周知が進んだことか												
				友争未をIPFPで応り 上回った。今後も積					中間の牛皮	はこり批画	の回知が進	ruic	-C/J.	
				ウイルス感染症に				停止した団	木が 今和ら	年度も引き	続き活動を	/ 信止Ⅰ	, 声	
	R	10302 71144	F皮が至って <i>)</i> 至らなかった <i>?</i>	ことから目標値を大	幅に下回っ	軸からる	にめ掲載さ	で正した画 Nとうや市H	AAC TAIC	て 周知を図		数を!	きなし	
	5	ていく。				700 510	2 IIO C IZZ TIX V		0,000	1797000		- XX C-		
		0303 令和4年	F度新型コロブ	トウイルス感染症拡z	大により活	動を自粛	している団	体が、令和	5年度も引き	続き活動を	自粛し再掲	載に到	Eらな	
		かったる	ことや新規で数	登録する団体が少な	かったこと	から目標	標を達成でき	なかった。	引き続き広	報いとうやす	ħHP等によ	り広く	く周知	
				曽やしていくととも	に、市民に	最新の情	転を提供で	ぎきるよう、	定期的な更	新に努める。				
		0301 (達成	状 況) B+											
													1 %) (()	
		(実績評価)		こまり後援事業を		する取締	世を令和3年	度から開始	しており、	令和5年度に	まこの取組の	D周知	が進ん	
		(A// A++++)		目標値を大幅に上		* # + T = + T	-45 1 = +0+=	1441-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-						
		(今後の対応)	・5 さ続さば	試報誌やSNSを活用	しに団体活	動の積包	別な情報提	供に努めて	U1<.					
d	_	0000 / 15 #	, L V C	•										
		0302(達成	状 況) C											
R	9	(中维亚/亚)	· 今和4年度	に新型コロナウイル	フ成沈庁/	ニトル注	助た焼小す:	スため担託な	ははしたほ	1 1 1 大が 今 チロ	5年度まご	* # *	活動を	
		(実績評価) 		は新空コロアライが					51字川 ひに凹		ひ牛皮でいる		が出る	
8	<u> </u>	(今後の対応)		はまなびのとびらの					ラスよう学	に利田老日	線で孝ラ	広報1.	レン	
佰	Į.			より広く周知を図り				以したいに心	シスのケンホ		がくらん、	IZA ŦIX V	را	
10	Ш	0303(達成		0. J.L. (13/11 CE)	21111111111	X C / C (
		0000 (足成	1/\ //U /											
		(実績評価)	• 令和4年度	に新型コロナウイル	ノス感染症は	広大により	の活動を白	載している同	団体が、分和	5年度も引	き続き活動を	ち白恵	し再掲	
		/ لللها الله المجراة عرا		つたことや新規で									, C 1319	
		(今後の対応)		報いとうや市HP等							に最新の情報	最を振	供でき	
				的な更新に努める。					. ,					

					指標数	2	2	2	2	2]				
	04	4 魅力ある図書館の構築	築事業の推進	達成状況	達成数	0	1	1	0	0					
					達成率	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	1				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		40. 様々なイベントや企画	イベント・介画展	R1	目標値	42	44		50	60		生涯学			
	O	401 展の実施	の開催数	380	実績値	30	43				_	習課			
			市民満足度調査に	R1	日標値	× 未達成 39.1	× 木達队 39.5	〇 達成 39.9	42.4	47.3	以上				
	0	402 新図書館建設	おける図書館の利		実績値	38.4	414		42.4	41.3	%	生涯学			
		TOE MIZERIE	用割合	38.4%		× 未達成		× 未達成			以上	習課			
		0401 新型コロナウイルス原	感染症拡大の状況を	踏まえ、お				たため、目標	票値を下回る	る結果となっ	ったが				
		ナ影響下でも実施で	きる新たな企画を実	施した。令											
	R														
	3	O4O2 新図書館建設については、令和3年度末に基本設計業務が完了し、令和4年度は実施設計業務を進めていく。新図書館においては、蔵書の増加のみではなく、各種機能の充実を図るとともに、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用保護に向け、SNS等を活用したPRを実施し、機工確成に努める													
1	≢l	は、蔵書の増加のみではなく、各種機能の充実を図るとともに、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用促進に向け、SNS等を活用したPRを実施し、機運醸成に努める。													
		利用者の利用促進に向け、SNS等を活用したPRを実施し、機運醸成に努める。 0401 前年度を上回るイベントや企画展を開催したものの、新型コロナウイルス感染症対策により中止とした事業があったため、目標値													
J ₂	刨口	には到達しなかった。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。													
=		には到達しなかった。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。 O4O2 新図書館建設については、令和4年度に実施設計が完了し、令和5年度は新築工事を進めていく。													
C		には到達しなかった。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。													
1	#														
		0401 目標値を上回るイベン	ソトや企画展を開催	(できた。 ラ	後も図書	言語の魅力を	:発信でさる	企画を実施	するよう劣な	かる。					
	R	0402 新図書館建設についる	てけ 今和ら年度の	ス 札 不調ち	欧キラ	仝 休車業費	の線減に向		終を進めて	.\<					
	5	再設計業務においては									宇期間	図書館			
		を利用していなかった							,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		_,,,,,				
		O4O1 (達成状況) B+													
	ф	(実績評価) ・目標値を上	:回るイベントや企画	画展を開催	でき、来	館者数は増	加傾向になっ	っている。							
	•		 	キフ トニた	かあた 中	佐」 オフト	ニかいフ								
	間	(今後の対応) ・今後も図書	館の魅力を発信で	さるような	止世を夫	他しりるよ	ン劣める。								
		0402(達成状況) C													
	評														
	IΨ	(実績評価)・新図書館建	設事業に係る積極的	的な情報提	供に努め	、これを契	機に、「現	図書館を利用	している」	方の割合を	増や	したい			
	価		が、目標に達する。												
			からインスタグラム					ウントを新記	受し、再設言	†業務におけ	ける検	討経過			
		等について情	報発信を行うこと	こより、建	設に向け	た機運醸成	に努める。								

担当課	生涯学習課			施策4-40	の全指標達成	戊率	
政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 4	青少年の健全な育成	指標数	10	10	10	10	10
月指す姿	次代を担う青少年が、豊かな人間性・社会性を身	達成数	5	6	6	0	0
日担分女	に着け、地域とともに健やかに育つことができる	達成率	50.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%

									_					
			指標数	1	1	1	1	1						
1 1	成果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0						
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
-		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課					
成果 指標		R1	目標値	1.43	1.49	1.55	1.61	1.68	- 同 生涯学					
1日15 1	፞፞፞፞፞፞校協働活動への参加回数	1.35回	実績値	0.44	0.95	0.74			回 生涯学 習課					
•				× 未達成					以上					
目標)人数が1,(200人以	以上減少す	る見込みの	中で、地域	或学校協働	活動への参	別を促す					
の	事により、青少年の健全な育成に資する	。なお、t	也域学校	協働活動	への参加者	数は、①ま	がさつ運	動(一斉活	動)、②					
考え	方 放課後子ども教室、③ふるさと教室、④	夢チャレ?	ンジくら	ぶへの延	参加者数の	合計とする	3 。							
R	(実 績 評 価) ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ事業を中止したことから、参加者数も大幅に減少したため、目標を下回る結果となった。													
3	回る結果となった。													
年	(次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、感染対策を講じた上で可能な限り実施するとともに、多くの子どもたちに参加いただくよう努める。													
度														
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							から、ふるさ	さと教室及び					
R 4	夢チャレンジくらぶ延べ参加					.,								
年	(次年度修正点)・アフターコロナにおいても													
度	する予定であるため延べ参加							(一斉活動)	②放課後子					
	ども教室の実施状況にもよる	かい、概ね美	領値は1	凹削後で推	移していく	見込み (*め.	ි .							
R	(実績評価)・令和4年度の次年度修正点													
5	いであったほか、学校統合に					.,,,,			_ •					
年	(次年度修正点)・ふるさと教室の講座数につ		を変更す	る予定はな	いが、参加	定員の増加っ	を視野に入れ	1つつ、より)多くの子供					
度	たちに参加してもらえるよう	※める。												
	(達成状況) D													
中		の見郷ナナ	· IO DE	***********************	マハナ 分ho	**	キャか ナ							
間評	(実 績 評 価) ・新型コロナウイルス感染症	の影響もめ	り、合事	美で見込ん	, ぐいに参加	有を確保で	きなかった。							
価		かオニとけ	一田難たた	- め 夕重業	と七中号数	た曲加させ	スたどが生れ	た図る						
ш	(フタの刈心) ・ 尹未祝侯や旧数を忌激に追	1 6 9 CCIA	とはまるだ	少、台尹末	こつた貝奴	では別のほ	しることで	は区分。						

						指標数	9	9	9	9	9	※ 基	本的な取
2		基本的な取組(;	2桁コード)	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	5	6	6	0	0		・主な内 の達成状
						達成率	55.6%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	況	70年84八
						指標数	3	3	3	3	3		
(21	声かけ・ま	がいさつ運	動の推進	達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
						達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		地域におけ	けるあいさつ	あいさつ運動におけ	R1	目標値	132	135	139	142	145	団体	生涯学
	0	101 運動の推進		る自治会等の地域団体の賛同数	129団体	実績値	162		151				習課
				件の負回数			〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	
		小 • 中学校	な及び高校に	小・中学校及び高	R1	目標値	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760	人	开 :压兴
	0	102 おけるあい	うで運動推	校でのあいさつ運	0.7541	実績値	632	1,554	742				生涯学習課
		進		動延参加者数	2,754人	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
				「あいさつ運動瓦	R1	目標値	5	6	6	7	7		
	0		動の広報の	版」やSNS等を活		実績値	4	4	3				生涯学
		推進		用した広報回数	50	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	習課
		0101 広報いる	こうで賛同者の	の募集を図ったこと	などからE					し賛同団体の	の募集を図っ	ってい	<.
	R			感染症拡大防止のた									
	3			中学校及び高校での が、目標達成できる			別者数かえ	帰に減少し	、目標を大	晶に下回る	結果となっ1	こ。大	に匠匠
)日煙を下に	ス丝里とた	った 今和	4年度につい	ハアけ 広封	日子注	空 を 新
	0103 夏の一斉活動を荒天により中止したため、広報の機会が減り目標を下回る結果となった。令和4年度については、広報手法等を新たに検討する中で、周知を図っていく。												
年	0101 引き続き賛同していただいた団体がほとんどであったため目標値よりも高い結果となったが、賛同数は減少したため、情報発信を												
œ	強化し、新規賛同団体の増加を図っていく。												
度	R 0102 通り実施できたため延べ参加者数は2倍以上に増加したものの、目標数値に至らなかった。今後は学校へのアプローチを見直し、												
評		世り天』			以上に増加]したもの	つの、目標数	植に至らな	かった。今	後は学校への	カアプロー:	チを見	直し、
			数の増加を図っ	· · · · ·	-+0(=)****	5 にもしの -	+0 女江	シーナソンテム	7 O E 7 = =	++4 0	+亜米ル	C + +	· +
価				SNS等を活用した瓜 知を行い、情報発信			P氏一 斉活動	当においてる	32回じめつ	ににめ、日	標 数 恒 に 主	りなん	いつに。
				のの、団体構成員の			見模の縮小を	・理由に、 替	同団体を辞	退する連絡や	め. 団体の	当滅に	よる辞
				司団体数が減少した							(- (13////	100 001
	R	0102 秋の一剤	等活動日当日(の天候が悪く、活動	を見送った	り、縮小	いしたりする	ケースが見	られたため	、参加人数7	が減少した。	また	東
	5	小、西/	小、旭小が統領	合したため、指標と	している活	動場所自	体が減少し	参加人数が	減少した。				
				の天候が悪く十分な							の報告に留	まり、	実績値
				活動前の発信回数を	増やすとと	もに、交	別果的な発信	万法につい	ても検討し	ていく。			
		0101(達成	状 况) <u>A</u>										
		(実績評価)	• 1 S 任 N F	この継続した活動で	あスことか	に活動に	対し一定の	認知度があ	Λ 替同を得	見かすい環境	きが敕ってい	\ <i>ス</i> こ	とが亜
		大顺叶Ш/		一方で、賛同団体									
		(今後の対応)		い環境やメリット									
Г	þ												
	-	O102(達成	状 況) D										
F	9		*C#!'		±0±.1 ≈ ²=	14 17 = 1	<u></u>	55		+ // -:-	- \T #\c- /+·	L /_	
		(実績評価)		ナウイルス感染症拡 交の統廃合により指							- 沽動実績に	山復	U C (N
0	$\overline{\Psi}$	(今後の対応)									コキ結キ	がち	Tu\\/-
	汗動た成りトげていく												
ſi	Ш	0103(達成											
		(実績評価)	•年2回の-	- 斉活動の報告が瓦	版とSNSで	の発信に	留まったた	め、目標を	達成できな	かった。			
		(今後の対応)	・実施前の活	5動周知を強化し、	舌動を盛り	上げてい	<.						

						指標数	2	2	2	2	2	1		
()2	地域におけ	する居場所	づくりの推進	達成状況	達成数	1	1	1	0	0			
						達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
				放課後子ども教室	R1	目標値	5	6	6	7	7	教室	生涯学	
	O ₂	201 地域活動区	団体の推進	の実施数	5教室	実績値	5	7	7				習課	
				charthon ioがに トフ	D4	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	0	0	以上		
	0	広報誌やSN 202 域における放	S等を活用した地		R1	目標値 実績値	1	1	2	2	2		生涯学	
	U,	の居場所に係		くりに係る情報発信回数	00	評価	× 未達成		_			以上	習課	
		0201 新型コ	コナウィルス!	 	ら. 一部.				ものの、実	 施団体につい	ハては日標を		した。	
	R			、放課後における子							, CIO 🗆 18. (- Æ/X	٥١٥٥	
	3	0202 新型コロ	コナウイルス!	感染症拡大の状況か	ら、積極的	な広報を	実施できな	かったが、	令和4年度	については、	状況を見れ	極めな	がら情	
	報発信に努める。 OOO1 新たに実施を発現する団体が増加したことで、日煙を達成した。引き結ぎ、持続的に教会運営を担うことができる団体の撮灯起こ													
年	0201 新たに実施を希望する団体が増加したことで、目標を達成した。引き続き、持続的に教室運営を担うことができる団体の掘り起こ													
度	を表 Cに努めていく。													
価	4 0202 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、積極的な広報を実施できなかったが、令和5年度については、情報発信の強化に努める。													
	R	0201 昨年と同		を実施したことで目	標を達成し	た。引き	き続き、持続	的に教室運	営を担うこ	とができる[団体の掘り起	記こし	に努め	
	5			できなかったが、令	和6年度に	ついては	は、広報いと	うへの掲載	など活動に	ついての情	報発信の強化	七に努	める。	
		0201 (達成	状 況) A											
	þ	(実績評価)	コロナ禍て	であったが、意欲的に	こ活動して	くれる団	体がいたた	め、目標を	達成すること	こができた。				
昆	1	(今後の対応)	• 活動団体 <i>0</i>)高齢化が進んでい	るため、引	き続き持	続的に教室	運営を担う	ことができる	る団体の掘り)起こしに努	いかて	,\<.	
	_	0202(達成	状況) D											
- 5	Ψ	0202(莲 戍	ルボ/ D											
ſā	<u> </u>	(実績評価)	• 過去3年間	記においては、新型:	コロナウイ	ルス感染	症拡大防止	の観点から、	、積極的な広	な報活動を実	尾施できなか	った。	,	
		(今後の対応)	• 令和6年度	は広報いとうに掲	載する予定	があり、	その後もSN	NS等で積極	的な情報発信	言に努める。				

主な内容 1 青少年健全育成活動への地域の積極的な関与 301 地域から積極的な推薦	舌動の活発化 管理指標 善行賞における地 域からの推薦者数	達成状況 基準値 R1 10人	達成数 達成率 目標値	0 0.0% R3 10	1 100.0% R4	1 100.0% R5	0 0.0% R6	0 0.0% R7	単位	+D.W-=		
1 青少年健全育成活動へ の地域の積極的な関与	善行賞における地	R1	目標値	R3	R4			-1-70	単位	+D 1// =B		
1 青少年健全育成活動へ の地域の積極的な関与	善行賞における地	R1				R5	R6	R7	単位	+O 1/1-E		
の地域の積極的な関与				10	4.0				- 1 <u>11</u>	担当課		
の地域の積極的な関与		101		2	10	10	10	10	٨	上 涯台		
	13/3 ラッカ正帰日数		実績値	0)	64	13				生涯学習課		
201 地域から積極的な推薦			評価	× 未達成	〇 達成	○ 達成			以上			
3 日常的に善行に取り組み、その善行が地域の方々に伝わる風土を育成するとともに、善行賞及び推薦方法の周知に努める。												
1 0301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はもちろんのこと、クラスや学年単位で善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要であることから、引き続き地域から多くの推薦が上がるよう取り組んでいく。												
301 前年から減少はしたも	らのの、個人賞と伝	統文化継承	活動で地	地域からの推	薦があり、	目標値を達成	或することだ	ができた。				
301(達 成 状 況) B+												
実績評価) ・区長を通じ	て各区への周知を図	図ることに	より、増	減はあるも	のの地域から	らの推薦をい	ハただくこと	こができた。				
間 (実績 評価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるものの地域からの推薦をいただくことができた。 (今後の対応) ・善行賞を知らない方も多くいるため、市HPやSNSを活用し、積極的な周知を図っていく。												
	301 団体賞において地域がで善行に励み、地域に推薦が上がるよう取り 301 前年から減少はしたも 301 (達成状況) B+ 集績評価) ・区長を通じ	 301 団体賞において地域からの推薦があったで善行に励み、地域に認められることは推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝 301 (達成状況) B+ 実績評価) ・区長を通じて各区への周知を認	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標で善行に励み、地域に認められることは、地域学校推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承 301 (達成状況) B+ 実績評価) ・区長を通じて各区への周知を図ることに、	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅にで善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地 301 (達成状況) B+ 実績評価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績で善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推 301 (達成状況) B+ 実績評価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるも	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。で善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、 301 (達成状況) B+ 実績評価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるものの地域から	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はで善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要である。推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、目標値を達成 状況) B+ とのでは、また、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はもちろんのでで善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要であることから、発推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、目標値を達成することがある。 301 (達 成 状 況) B+ と 「・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるものの地域からの推薦をいただくこと	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はもちろんのこと、クラスで善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要であることから、引き続き地域推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、目標値を達成することができた。 301 (達 成 状 況) B+ 実 績 評 価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるものの地域からの推薦をいただくことができた。	301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はもちろんのこと、クラスや学で善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要であることから、引き続き地域から推薦が上がるよう取り組んでいく。 301 前年から減少はしたものの、個人賞と伝統文化継承活動で地域からの推薦があり、目標値を達成することができた。 301 (達 成 状 況) B+ 実 績 評 価) ・区長を通じて各区への周知を図ることにより、増減はあるものの地域からの推薦をいただくことができた。		

	04	次世代を担	∃うリーダ [.]	一の育成	達成状況	指標数 達成数		3		3		3	3	3		
						達成率	10	00.0%	10	00.0%	10	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	容	管理指標	基準値			R3		R4		R5	R6	R7	単位	担当課
			が機会の拡	ふるさと教室を経 て、夢チャレンジ	R1	目標値		33.3		40.0		40.0	40.0	40.0	%	生涯学
		401 大(夢チャ ぶの開催)	・レンシくら	くらぶに参加した 者の割合	40.5%	実績値 評価	0	37.7 達成	0	52.0 達成	0	42.5			以上	習課
		- 小年教育の			R1	目標値		40		40		40	40	40		
	Ω	グヰ教育の 102 生ふるさと		小学生ふるさと教		実績値		50		40		40	10	10	人	生涯学
		催)	-3/12-27/0	室の参加者数	40人	評価	0		0		0	達成			以上	習課
			導する中高	夢チャレンジくら ぶの参加者のう	R1	目標値		52.9		55.6		55.6	55.6	55.6	%	4-7-7-74
	O		少年指導者	ち、静岡県青少年指導者認定を受け	52.9%	実績値		82.6		84.6		94.1				生涯学習課
		認定者事業	(の推進)	た者の割合	02.070	評価	0	達成	0	達成	0	達成			以上	
				惑染症拡大の状況の らぶへと進む流れを			美を打	推進する	こと	こで、目	標を	達成した	こ。引き続き	き、ふるさん	二教室	を経由
	R 3	該事業~	への参加意欲が	ては、年々応募者が が高いため、引き続	き事業のフ	ブラッシ <i>:</i>	1ア:	ップを図	Jo7	ていく。						
	J	0403 令和2年度までに静岡県青少年指導者認定を受けた者が令和3年度の夢チャレンジくらぶに13人参加したこと、令和3年度の夢チャレンジくらぶに新たに参加した10人のうち6人が指導者認定を受けたことから、目標値を大きく上回ることができた。引き続き新規参加者を募る中、級別認定者を増やすことで、次世代を担うリーダーの育成に努める。 0401 ふるさと教室参加希望者が年々増加し、夢チャレンジくらぶ生として参加を希望する生徒が増えているため、引き続きこの流れを														
Æ			二教室参加希望										えているため	め、引き続き	きこの	流れを
年度評	1 '	業への参	参加意欲が非常	ては、年々応募者が 常に高いため、引続	き事業のフ	ブラッシニ	1ア:	ップを図)]	ていきた	い。					
価	i ⁴	⁰⁴⁰³ チャレン	ノジくらぶに新	可県青少年指導者認 所たに参加した13, 中、級別認定者を増	人のうち9	人が指導	者認	配定を受	けた	ことかり	ò.	目標値を				
			こ教室参加希望 1を推進してい	望者は高水準で推移 Nく。	しており、	夢チャし	ノン	ジくらぶ	生と	として参	加を	希望する	る生徒が増え	えているため	か、引	き続き
	R 5			こものの、定員40 <i>)</i> を図っていきたい。	人に対し約9	90人の応	i.募./	があった	· ·	当該事業	∧ Ø	参加意名	次が非常に高	高いため、う	引き続	き事業
			度中に新規に 育成に努める。	指導者認定を受けれ	た者が10/	いたこ	とか	ら、目標	票値?	を大きく	上回	3ること:	ができた。	今後も次世紀	代を担	ラリー
		0401(達成:	状 況) A													
		(実績評価)	・ふるさと教 た。	室(小学生)から	夢チャレン	ジくらぶ	(4	高生)	まで	継続して	て青·	少年関係	事業に参加	する土台が	形成で	され
	.	(今後の対応)	・夢チャレン していく。	ジくらぶのほとんど	どを中学生	が占めて	いる	らことか	6,	今後は高		生の参加	率をさらに	向上させる	方法	を検討
	+	0402(達成)	状況) A													
	間	(実績評価)	・参加しやす なった。	いよう講座の回数を	を概ね月1	回程度に	した	ことに	より	、安定し	ノて	定員を超	記える申込数	なを維持でき	るよ	うに
	平	(今後の対応)	・講座内容を	ヹ゙ヺッシュアップ	するととも	に、魅力	ある	新規講	座を	開拓して	てい	<.				
1	#	O4O3(達成)	状 況) A													
		(実績評価)	・青少年指導出することか	者認定者事業を夢っ できた。	チャレンジ	くらぶ募	集σ	段階で	周知	すること	とに	より、毎	年安定して	新規の初級	認定	者を輩
		(今後の対応)	• 初級取得後	6、中級にも積極的に	こ挑戦して	もらえる	よう	周知を	図っ	ていく。						

担当課		生涯学習課			施策4-50	の全指標達成	戊 率	
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち		年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	施策分野 5 市民スポーツ活動の推進		指標数	7	8	8	8	8
月指す姿	,	市民が気軽に快適にスポーツに取り組むことがで	達成数	3	2	3	0	0
日拍9安		き、生涯にわたって健康を維持することができる	達成率	42.9%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%

										_	
				指標数	1	1	1	1	1		
1 成	果指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	「市民フポト		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果			R2	目標値	74.5	76.0	77.5	78.5	80,0	%	41- VT 334
指標 1		市民の割合(市民満足	70.00/	実績値	72.7	68.7	68.2			%	生涯学習課
	度調査)		73.3%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	百味
目標値	+0,40,64	********	+00+	L → 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	- >		m ~ FK+* 4	***	T++M+D+		1
の	中氏油正及調	査を参照することにより、	中氏の中が	いり無作	- 為に拙出る	されいこ」ム 型	四の皆様の)恵見や評(四を把握9	90	275
考えた	₅ 可能となるた	<i>%</i> ک،									
R	(実績評価)	・新型コロナウイルス感染症	予防のため	、社会体	育施設の臨	時閉館やイ	ベントの中」	上などが重な	よった影響に	こよる	もので
3		あると考える。									
年	(次年度修正点)	・withコロナを踏まえ、感染	対策を的確	に実施し	人 事業をで	きる限り実	施すること	で、市民の間	当様の満足の	度向上	が図ら
度		れるよう努める。									
R	(実績評価)	新型コロナウイルス感染症							ご、コロナ社	8にお	いて活
4		動に制限が課された点やスポ					.,	- •			
年	(次年度修正点)	新型コロナウイルスの感染		類が5類	へと移行す	るのを踏ま	え、社会体育	育施設におけ	ける利用制限	見の見	直しや
度		事業実施ができるよう進めて									
R	(実績評価)	コロナ禍で実施していた社は公共の利用が、対できたく					ものの、廃村	交となったII	3伊東高等等	学校、	同城ケ
5	~~~~~~~ ~	崎分校の利用が一部できなく	0			•	- L L Co+		- 1 " > " > 1-		
年度	(次年度修止点)	・高校跡地の利活用に関して討し、他分野においても満足					ことと同時に	し、長期的な	よヒションに	_関し	くも検
反	/ 法 라 件 汩 \	引し、他力野においても河上	及の凹上に	. フなけら	れるよう劣	める。					
	(達成状況)	D									
中間	(実績評価)	・コロナ禍による利用制限等	た課したこ	上 固σ	施筆でけた	スが喜笙学	校の2校統会	とにより草材	田地の体育	S S II ETT	hĭ
評		できなくなったこと等が要因			NIEW CIGO)	のい回子子	7又0ノ〇代人形に	こころり回び	いしょいりから	י כר ונייי ו	O OP
価	(今後の対応)	市民の皆様が利用できる体			継続的に図	り、満足度	の向上に努め	かる。			
				ی کاردادی			·/-	.5 000			

		基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)				指標数	6	7	7	7	7		本的な取 ・主な内
2	1	基本的な取組(2	2桁コード)	・主な内容(4桁二	コード)	達成数	3	2	3	0	0	容	の達成状
						達成率	50.0%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	況	
	_ ,	0=	2/1 - 4-15			指標数	2	2	2	2	2		
(21	スポーツ団	体の支援		達成状況	達成数	2	1	1	0	0		
						達成率	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	答	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課
		スポーツ団	体の活動支	体育協会	R1	目標値	26	26		26	26	団体	生涯学
	O.	101 グ ^{ボーフ®} 援	一年のカロ主が文	加盟団体数	26団体	実績値	26	26					習課
							〇 達成	〇 達成	× 未達成			以上	
		スポーツに	取り組む市	スポーツ賞賜金	R1	目標値	32	34	36	38	40	人	生涯学
	0.	102 スポークに 民の活動支		交付人数	31人	実績値	36	30	47				習課
						評価	〇 達成	× 未達成				以上	
		0101 令和3年	度は目標値を	達成することができ	きたが、引	き続き加	盟団体への	支援及び新	規加盟促進る	を図っていく			
R 3 0.102 令和3年度は個人20件と団体2件の延べ36人にスポーツ営場金を交付した。今後も効果的な活用がされるよう。広く周知を図っ													
でいく。 4 0101 令和4年度は目標値を達成することができた。引続き加盟団体への支援及び加盟団体数の維持向上が図られるよう新規加盟の促進											を図っ		
											見加盟	の促進	
度	R		も実施してい	, ,									
評価	4)件の交付にとどま						やむなく出	易を断念した	こ者か	があるこ
1Ш				る。今後も効果的な							m		
	R	0101 市和5年	F度は日標値で	を達成することがで	さなかった	。体育质	元と連携し	/ C、 凹体川	盗りるメリ	ツト寺を向え	切している。		
	5	0102 令和5年	E度は個人4つ	7件の交付となり、	日標値を1	1件上口	1つた. 大会	盟催数がコ	口士禍以前	の水準に戻り	ハつつある	- _{}-}	出場者
				がり"で賞賜金の制								,	ш-200 —
		0101(達成)	犬 況) C										
		(実績評価)	・小フ支給ル	の影響もあり、活動	計し口の言	歩くたとかも	はた兄のぼ	小竿に上の	壬動を停止る	ナス団はが山	」かいかフリス		
C	þ	(美模評៕)	• 少丁同期化	の影音ものり、心質	助人口の同じ	ADIO (STG	以仕氏の派	少寺にみりが	白勁で庁川り	9 の同体ハ.ロ	ראםאר ()。	
E	8	(今後の対応)	団体に対す	る活動支援、新たる	な指導者の	発掘等を	継続的に実	施し、活動	継続に向けた	こ支援を検討	けしていく。		
1													
Ē	Ŧ	0102(達成)	犬 況) B+										
ſ	5	(実績評価)		交付実績は減少した	たが、再び	増加傾向	にある。制	度の周知が	進んだほか、	市民の競技	支水準が上昇	傾向	にある
			と考えられる		1 1-かよっ	L L + '-	エナフル	在图5ct 2000	7				
		(今後の対応)	51さ続き巾	民の競技水準の向」	エに劣める!	CCtl	、更なる制	医周知を図る	ි				

					指標数	1	2	2	2	2		
()2	· 社会体育施設等	の充実	達成状況	達成数	1	1	2	0	0		
					達成率	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		。。. 社会体育施設の誤	 	:+面	目標値	_	2	4	6	7	車業	生涯学
	O2	201 更新	は	;; _ _	実績値	_	2	4				エルチ 習課
		~***	703 703	*4	評価	_	〇 達成	〇 達成			以上	
		200 学校体育施設の設	 と備等 修繕、工事及	7 R1	目標値	2	2	2	2	2	施設	生涯学
	O ₂	202 更新	備品購入施設		実績値	3	1	5				
					評価	〇 達成	× 未達成				以上	
		0201 令和3年度は必		降の計画に	関し見直しる	を実施した。	R3の目標(直の設定をし	ノてい	なかっ		
	R たため、評価を「一」とした。											
	3 0202 令和3年度は東小学校、南小学校、旧川奈小学校の設備更新を行い、学校開放事業における満足度の向上に努めた。今後も 状況を確認し、必要に応じた修繕等を実施し市民満足度の向上に努める。										後も	施設の
_		# # T T T T T T T T T T T T T T T T T T						<u>^</u>	#T#&	1 にったが	7 - =	u) / a s
年	С	O2O1 令和4年度は係 な修繕を実施し		の座根及び体育	至内启耳	車 即の修繕を	笑他した。	ラ俊も中氏	両正度の回.	エにノなかる	タイン	、必妥
度評	4	0202 令和4年度は		海化生器の修繕	また宇施し	た 利用支	に起用した	1.1学校関放	施設の指揮:	が小たかった	゠゠ゕ	1 施
価	_	設のみの改修に	ことどまったが、今後	も必要に応じた	修繕を実	施し、市民	満足度の向	上を図って	いく。			
	R	0201 令和5年度はか がるよう、必要	かどの球場高圧引き込 要な修繕を実施してい		なび大原記	ば道場エレヘ	ベーターの改	修を実施し	た。今後もi	市民満足度の	の向上	につな
	5	0202 令和5年度は5		* =	続き必要	見に応じた修	経済実施し	、市民満足	度の向上を	図っていく。		
		0201 (達成状況)	В									
		(実績評価)・社会	(体育施設の設備更新)	1市民港兄座の	向上に向	けても大き	た亜田とた	っている。糸	単結的な事故	aができる b	· う :	十面性
4	ם		た対応が必要不可欠で		INTICIN	1) (0)(6)	る女囚しる	ノしいる。ル	を心にいる大川	311, CG.20	· J · ·	
			命化計画への記載がる		野に関し	ても必要に	応じた設備	更新を検討し	、 市民満足	度の向上に	努め	CV1
E	間 (フ後の対応) * 技者印記計画への記載がされていない力野に関しても必要に応じた設備更利を快割し、1月氏海足及の向上に劣めてい く。											
<u> </u>	77	O2O2(達成状況)	B+									
ő	Г											
ſđ	5	(実績評価)・必要	に応じ、学校体育施記	役の体育利用の	対応を行	うことがで	きた。					
		(今後の対応) ・利用	老の声を伺いながら	必要に応じた	対応を給	討していく						
	(今後の対応) ・利用者の声を伺いながら、必要に応じた対応を検討していく。											

					指標数	1	1	1	1	1		
	03	: 指導者の養成		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		これ スポーツ推進委員の拡	スポーツ	R2	目標値	12	13	13	14	15	,	生涯学
	03	301 充	推進委員数	11人	実績値	11	11	11				エ 座子 習課
		76	正是女只女		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
白												
医部	4	R 0301 スポーツ推進委員の高齢化や個々の事情により継続できないケースが生じており、従来の方法では新規就任者を確保することが難										
佰	R 5	0301 体育協会等の関係機関	暑と連携して委員の	確保に努め	たものの)、委員数が	増加しなか	った。				
	O3O1 (達成状況) D											
	間 (実績評価) ・スポーツ推進委員は、高齢化に加えて個々の事情により継続できないケースが多く生じている。また、新規委員の発掘 に関しても大きな課題である。											
	(今後の対応) ・スポーツ推進委員が活動しやすい環境の構築に努めるとともに、新規委員の発掘に向けた新たな方策を検討していく。											

					指標数	2	2	2	2	2	
	04	1 市民の健康維持及び	本力向上	達成状況	達成数	0	0	0	0	0	
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
				R1	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500	人
	0	401 スポーツ教室の拡充	参加延人数	8.979人	実績値	3,908	6,280	6,068			翌課
					評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上
			 体力運動能力	R1	目標値	26	27	28	29	30	人
	0	402 市民の体力向上	調査参加者数	24人	実績値	0	0	15			習課
							× 未達成		No. 4- 1	^	以上
	R	O4O1 新型コロナウイルス原 ナ禍においても実施が			事業が多	らくあり、巨	標を達成す	ることはで	きなかった。	令和4年度	は以降はコロ
	3	O4O2 新型コロナウイルス!! 模索し、市民の体力!!		令和3年度	事業を中	止とした。	令和4年度以	以降はコロナ	一禍において	も実施がで	きる方策を
年 0401 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止または実施回数を減少した事業があったことが一因として考えられる。教室実施度 R 及び内容についても伊東市振興公社と共に検討していくとともに新たな事業開催に向けた調査を継続していく。											牧室実施回数
評価		O4O2 新しい開催方法を模 令和5年度は開催日								ることができ	きなかった。
	R	O4O1 新型コロナウイルス原 者増加に向けた方策を				参加者は前	年度からや	や減少した。	リピーター	ーは多いたと	か、新規参加
	5	O4O2 令和5年度は4年ぶり 広い年齢層の参加者		、参加者数	は目標値	の約半分に	とどまった	。また、若な	年層の参加を	きが少なか:	ったため、幅
		O4O1(達成状況) D									
	ф	(実績評価) ・コロナ禍にとが考えられ	よる制限や開催数の	の減少に伴	い、従来	参加してい	たリピータ・	ーに関しても	参加をやめ	てしまった	方がいるこ
ı	(今後の対応) ・伊東市振興公社と連携し、既存の満足度の高い事業の他に魅力的な事業や新しい事業の実施に向けた検討を進めてい く。										
	平	O4O2(達成状況) D									
	価	() () () () ()	よる実施方法の見るしたと考えられる。		くの課題	があり、令	和4年度まで	で事業を実施	できなかっ	た。このだ	め、事業の
		(今後の対応) ・事業の周知]を強化し、幅広い:	年齢層の参	加者增加	を通して市	民の健康増設	進を図る。			

担当課	生涯学習課・企画課			施策4-60	の全指標達成	艾 率	
政策目標 4	政策目標 4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち		R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 6	施策分野 6 歴史・芸術文化の振興		10	10	10	10	10
目指す姿	市民が歴史、芸術文化に触れ、心を豊かにすると	達成数	2	2	2	0	0
日担り女	ともに、後世に伝えることができる		20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

				指標数	2	2	2	2	2				
1 1	成果指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0				
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	「芸術、文化」	 こ触れる機会の充	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果		こいる市民の割合	R2	目標値	64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	0/	4F \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
指標			00.70/	実績値	61.8	57.8	61.9			%	生涯学		
1	(市民満足度記	尚 登)	62.7%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	習課		
目標	市民満足度調査	を参照することにより、	市民の中な)意見や評(ー 価を把握す	るこ	とが		
の	可能となるため。									_			
考え	う												
		=====================================	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果		芸能の保存」に満足	R2	目標値	76,8	77.6	78,4	79,2	80,0	0/			
指標 2		の割合(市民満足度	75.00/	実績値	76.6	70.7	75.0			%	生涯学		
	調査)		75.9%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	習課		
目標	市民満足度調査	を参照することにより、	市民の中/	から無作)意見や評(ー 価を把握す	るこ	とが		
の	可能となるため。			/		_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,, .						
考え	5												
	1(実績評価)・	新型コロナウイルス感染症	の感染防止	のため、	芸術祭、伊	東市史に関	する講座・	構演会等の₹	事業を中止・	· 縮小	せざる		
		得ない状況が発生したこと											
R	(次年度修正点) •	withコロナを踏まえ、感染	対策を的確	に実施し	、 事業をて	きる限り実	施すること	で、市民の智	当様の満足	度向上	が図ら		
3	れるよう努める。 2(実 績 誣 価)・日標値をやや下回ったが令和2年度の数値は上回っており、史跡江戸城石垣石工場跡保存活用計画策定といった事業												
年	2(実績評価)・目標値をやや下回ったが令和2年度の数値は上回っており、史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画策定といった事業												
度	内容が評価されつつあると考えている。												
	(次年度修正点)・史跡に関する情報発信や、郷土芸能の保存団体に対する支援に努める。												
		3年ぶりに芸術祭を開催した						では芸術・文	化団体の解	散等に	こより		
	_	加者がコロナ禍前を下回っ											
R		観光会館文化事業入場者数							振興公社及	ひ文	化協会		
4		連携し、魅力ある事業を提											
年度	2(実績評価)・	コロナ禍で郷土芸能の保存	に対する関	心が薄れ	ていった影	響があると	考えている。						
反			/DD 1 ++44 0		- <i>!</i> +-+	·to・カル・フ							
	(次年度修止点) •	史跡に関する情報発信や、	郷工芸能(/)	保仔回体	に刈りる文	: 抜に劣める	•						
	1 (実績評価)・	実績値が前年度を上回った	+ 00 0	抽店には	本になかっ	<u></u>							
	1 (美模評圖) •	夫領旭が別井及を上回うた	ものの 、 日	信旭には	主りなかり	ارَه							
	(勿年度終正占) •	振興公社及び文化協会と連	堆1. 触力	ある重型	た担州する	ことで	足の比埃の	*兄庞向 F.#	が回らわる	トニ奴	かる		
R 5	(水牛皮修正黑)	松英乙社及び文11励云と建	1元し、 MM /	のの事業	と使用する) C C C , 1P:	大り日 後りん		1.図ら1190	トノカ	める。		
年	2(実績評価)・	実績値が前年度を上回った	ものの. 日	標値には	至らなかっ	た。							
度		入順において及じ上回りた		IN IEICIO	· ± 5.0% 5	/C ₀							
	(次年度修正点) •	史跡に関する情報発信や、	郷土芸能の	保存団体	に対する专	接に努める							
	OK TOUR EM		/AP	N(13 (2)11		.100.00	,						
	1 (達成状況)	<u> </u>											
		D											
	(実績評価)・	3か年の実績は60%前後	の数値を得	られてい	るが、目標	値には達し	ていない。						
中													
間	。 (今後の対応) ・振興公社及び文化協会と連携し、魅力ある事業を提供することで、市民の皆様の満足度向上が図られるよう努める。												
目													
評	2(達成状況)	B-											
			D#1=10	~ to =:	7 + 1	: := := :- :							
価	(実績評価)	3か年の実績は70%以上	の数値を得	られてい	るか、目標	値には達し	(いない。						
	(会然の計画)	中端に関する鮭却がため	407 + ±45.00		ーにかせっせ	ゼータムフ							
	(今後の対応)・史跡に関する情報発信や、郷土芸能の保存団体に対する支援に努める。												

					指標数	8	8	8	8	8		本的な取
2	2	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数	2	2	2	0	0		・主な内 の達成状
					達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	況	32E/34-17
					指標数	3	3	3	3	3		
	01	1 文化財の保護・保存		達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
					達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課
			指定文化財及び	R2	目標値	66	67	67	68	68	件	生涯学
			無形民俗文化財 保存団体登録件数	66件	実績値	67	67	68				習課
	0	101 指定文化財等への保護	床仔凹件豆球件数		評価		〇 達成	〇 達成			以上	
		や支援		R1	目標値	41	41	42	42	43	件	生涯学
			補助金交付件数	41件	実績値	40	38	34				
						× 未達成	× 未達成				以上	
		史跡江戸城石垣石丁場	計画内経過観察項目		目標値	24	24	24	24	24	件	生涯学
	О	102 跡保存活用計画に沿っ	達成件数 (全24項目)	_	実績値	6	7	7			↓ ''	習課
		た施策実施	1—— 171—7	※ 1			× 未達成		=	<u> </u>	- ch 1, 1	ner i
		O1O1 指定文化財及び無形 指定文化財の所有者						付件数は目標	際に至らなれ	かった。次年	‡度以	、降は、
	R	A 5-0 - 0 - 0 - 0						ロ描はたは	ナオフには	カン たか -	+ +	t)
左	≱ 3	0102 令和3年9月発行の 『計画書の概要版と市際用を行っていく。	大砂江戸城石坦石、 内の石丁場を解説し	場保仔店を たパンフし	ガゴ囲音の	でもこに	和4年度は	日候他を達整備活用計画	画の準備を追	生めながら、	た。 ん	等で活
馬	<u>-</u>	0101 指定文化財及び無形	民俗文化財保存団体	登録件数は	日標を達	産成したが、	補助金の交	付件数は目	標に至らなか	かった。引き	き続き	、指定
12	~ R									/ - 0		
8.	₽ 4						の教材を開	発するなど、	、進展も見ら	られた。令和	105年	度は整
		備活用計画の準備を設										
個		0101 指定文化財及び無形						付件数は目	標に至らなが	かった。引き	き続き	、指定
	R								m+/			
	5	0102 目標値を達成するに	3至らなかった。51	さ続さ整備	基本計画	100準備を進	めなから、	展示寺で活	用を行って	,1< 。		
		O1O1(達成状況) C										
	ф	(実績評価) ・指定文化則	オ及び無形民俗文化類	財保存団体:	登録件数	は目標を達	成したが、礼	補助金の交付	付数は目標	悪に至らなか	いった。	,
	(今後の対応) ・引き続き指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。											
	評	O102(達成状況) D										
	価	(実績評価) ・保存管理、	活用、調査研究で	は達成でき	た項目が	あるものの	、整備、運	営体制の項目	目は達成に至	E らなかった	-0	
		(今後の対応) ・整備基本記	†画の作成を進めて(ハくととも	に、全項	目の達成に	努める。					

						指標数	2	2	2	2	2	1	
()2	2 歴史に触れ	こる機会の技	提供	達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
						達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		麻山謙成下	ひ出前講座	歴史・文化に関する	R1	目標値	10,450	10,600	10,750	10,900	11,000	人	生涯学
	O:	201 遊びに講演		イベントの来場者数	10,302人	実績値	890	6,859	7,269				習課
		±0.000				評価		× 未達成				以上	
	_		『記念館及び	15-0-3 10-2-10	R1	目標値	7,760	7,820	7,880	7,940	8,000	人	生涯学
	O;	202 文化財管理	里センターの	施設入場者数	7,714人	実績値	2,663	4,560	4,697				習課
		充実	_	***	± . 1 ± . 1 × . 1 × . 1 × . 1 × . 1			× 未達成		I	:	以上	
	_			感染症の感染防止の 結果となった。令和								りした	ため、
	R 3											±田レ	to
年	3	3 0202 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、臨時休館があり、入場者が大幅に減少したため、目標を大幅に下回る結果となった。令和4年度以降は感染状況を見極めながら、可能な限り通常開館できるよう努める。											
		0201 新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、令和3年度と比較して歴史・文化に関するイベントの来場者数は増加したが、目標値											
度	R		_ , , , , , , , , , , ,	今後も魅力ある歴史							V.10-2.35 0 7		
評	4			文化財管理センター								東市へ	の来訪
от				響を受けたと考えら									
価				□ったものの、目標	値には至ら	なかった	こ。引き続き	魅力ある歴	史講座等を1	企画し、来は	場者数の増加	旧を目	指して
	R 5	いきたい	•	回ったものの、目標	はにはない	· tab) - t	- <u></u>	東日生の /	ペン / L 日日/光 /	ニ ト - アコダ		n 1— 40	ルフ
	5	0202 美順個/	7.町井及を工匠	回うたものの、日信	他には主じ	はかうだ	_。フ仮も止	一世展寺の1	ヘノト用作		6百数の追り	川に劣	w ලං
		0201(達成	状 況) D										
		0201 (建 //	1/(<i>//</i>	l									
_	_	(実績評価)	実績値は増	伽傾向にあるものの	の、目標値	には至ら	なかった。						
	Y												
R	9	(今後の対応)	引き続き魅	力ある歴史講座等	を企画し、	来場者数	の増加に努	める。					
10	ข			•									
≣.	Ψ	0202(達成	状 況) D										
		/ ch /# == /m \	中华点叶岭	神原ウにキマナの		1-1+75	たか - た						
ſċ	5	(実績評価)	・ 美領恒は増	帥傾向にあるものの	ル、日標値	には主り	<i>は</i> かつに。						
		(今後の対応)	引き続き朝	大力ある企画展等の	イベントを	企画し	λ館者数の	増加に努め	3				
		(אטיוני ארט אפו ע	JI CINI CIM	いるの正面体子の	1 1712.			ピッコロン	S) 0				

	03				指標数	2	2	2	2	2			
	O3	3 芸術文化活動の支援		達成状況	達成数	0	0	0	0	0			
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			文化協会	R1	目標値	79	80		82	83	団体	生涯学	
	O:	301 芸術文化団体等の支援	加盟団体数	78団体	実績値	68	66					習課	
					評価	× 未達成					以上		
		000 芸術文化に取り組む個	芸術祭	R1	目標値	1,150	1,175		1,225	1,250	人	生涯学	
	O:	302 公門文化に取り組名間 人の支援	参加者数	1,136人	実績値	118	928					習課	
			*** -=	\T# 0 4 +	評価				> 1. + t. d	- 31/ + 1	以上	1/- 0 0	
	R	O3O1 新型コロナウイルス原 支援及び新規加盟促設		沽動の目束	を行った	こことから、	加盟団体数	の増加か見	られなかった	こ。51続きな	川盟区	体への	
	3	0302 新型コロナウイルス原 4年度以降はコロナ禍					:したことか	ら、目標値	を大幅に下回	回る結果とな	なった	:。令和	
白馬	E R	0301 新型コロナウイルス感染症による行動制限は縮小したものの、活動の自粛が続き、加盟団体数の増加が見られなかった。継続して 加盟団体への支援及び新規加盟促進を図っていく。											
記	4	0302 3年ぶりに芸術祭を開			コロナウ	イルス感染	症の影響等	により参加す	ち数は日標値	に至らなか	いった	。令和	
偛		5年度以降は情報発信	言等を積極的に行い	、より魅力	ある芸術	祭を目指し	ていきたい	0				0 1515	
	R	0301 実績値が前年度を上	回ったものの、目標	値には至ら	なかった	こ。継続して	加盟団体へ	の支援及び	新規加盟促進	進を図って に	·1<.		
	5	0302 実績値が前年度を上していきたい。	回ったものの、目標	値には至ら	なかった	ころき続き	情報発信等	を積極的に	行い、より別	魅力ある芸術	情祭を	目指し	
		O3O1 (達成状況) D											
	中	(実績評価)・文化協会加]盟団体数が伸び悩む	び、基準値	に達して	いない。							
	間	(今後の対応)・引き続き文	化協会への支援を	行い、加盟	団体への	支援及び新	規加盟促進	を図る。					
	平	0302(達成状況) D											
	価	(実績評価)・実績値は回]復傾向であるものの	の、基準値	と比較し	て大きく下	回る状況が	継続している	3.				
		(今後の対応) ・芸術祭に関	する情報発信とと	もに、開催	方法や募	集要項の見	直し等を検	討し、参加者	音数の増加を	E図る。			

					指標数	1	1	1	1	1			
	04	- 文化拠点とな	る場の	整備	達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
				文化拠点となる場		目標値	実施	実施	実施	実施	実施		
	O ₄	401 文化拠点とな 備に向けた調		の整備に向けた調 査・研究の実施の	_	実績値	実施	実施	実施			企画課	
			有無	% 2	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成					
<u> </u>	R3 程 平 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	まための勉強会を開催した。また、ふじのくに官民連携実践塾を通じて、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者が参画可能な事業スキームを確認した。令和4年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。											
•	R 5		-14 1157	したコンサルティン 合和6年度以降につ					3 -1.4 -111.			営に関する	
	ф	O4O1 (達成状況) A											
	間評												
	価	(今後の対応) ・PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていくとともに、新文化ホールの建設地の調査・研究を進めていく。											

^{※2} 令和3年度から新たに実施するものであるため、基準値を一とした。

担当課		企画課•観光課	施策4ー7の全指標達成率						
政策目標	策目標 4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
施策分野	7 郷土愛の醸成			5	5	4	4	4	
日指す姿		本市の将来を担う高校生が生まれ育ったまちに誇りを 持ち、「住み続けたい」「離れても将来戻ってきた い」と思える		1	1	1	0	0	
日担9女				20.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

				†匕t亜米h	2	2	2	2	2	1			
1 6	成果指標(KPI)			指標数 達成数	1	1	1	0	0				
' '				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	1			
			基準値	建	R3	R4	R5	R6		単位	担当課		
成果		来戻ってきたいと思う	R2	目標値	59.5				65.0		15-104		
指標		合(高校生アンケー		実績値	72.7	57.9		04.0	00.0	%	企画課		
1	 		58.0%							以上	正画味		
+m/	1.7												
日標順「伊采印に行木戻うてきたいと志う向牧王の割占は、中和九年度美積30.4%、中和2年度美積30.0%を参照し、台年度 の 1%程度の上昇を見込む中で65.0%とした。											十/文		
考え方													
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果		郷土に誇りと愛着を持っている高	R2	目標値	72.0	73.0	74.0	74.5	75.0				
指標		(高校生アンケート)		実績値	68.1	74.0			, 0,0	%	企画課		
2	127,000		71.6%		× 未達成					以上	12.001		
目標	直 郷土に誇りと	愛着を持っている高校生の	割合は、名					2年度実	L 績71.6% <i>t</i>		各年		
ロ1示I の													
	考え方												
	1 (実績評価)・目標値を達成しており、今後も「戻ってきたい」と思えるまちづくりに努めていく。												
R	(次年度修正点)	・目標値は達成しているが、								∞を高	めてい		
3		くよう、高校にも積極的に働											
年	2 (実績評価)	・目標値に未達成のため、高	校との連携	を深め、	郷土(伊東	() に誇りや	愛着が持てる	るようなまた	うづくりに努	多めて	いく。		
度													
	(次年度修正点) ・高校生アンケートの回答率が前年度に比べて下がってしまった。今後は回答率を高めていくよう、高校にも積極的に												
		働きかけていくとともに、高											
	1(実 績 評 価)・目標値に未達成のため、高校との連携を深め、将来戻ってきたいと思うまちづくりに努めていく。												
	()原ケウはエト) ナカブペーン(人)美術ナストマーラセナのナカナカリング												
R (次年度修正点)・未来ビジョン会議等を通じて、高校生の生の声を聞く機会の創出に努めていく。 年 2 (実績評価)・目標値を達成した。高校との連携を深め、今後も郷土(伊東)に誇りや愛着が持てるようなまちづくりに努めて													
										フロ			
										_劣妙	CUI		
100													
	(次年度修正点) ・高校生アンケートの回答率が前年度に比べて上昇した。今後も回答率を高めていくよう、高校にも積極的に働きかけ ていくとともに、高校との連携を深め、郷土愛の醸成に努めていく。												
	ていくこともに、高校との連携を深め、郷工変の醸成に劣めていく。 1(実 績 評 価)・昨年度より増加したものの、目標値には届かなかったが目標達成に向け、将来戻ってきたいと思うまちづくりについ												
										, , ,	1000		
て高校生の生の声を聞くことを目的とし、未来ビジョン会議の委員に新たに高校生を選出した。 (次年度修正点)・引き続き、未来ビジョン会議委員に高校生を選出し、将来戻ってきたいと思うまちづくりにつ													
5	011202	良いアイデアや意見を伺い、				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		J - ()		- 1207111			
年	2 (実績評価)	・目標値を達成した。高校と	の連携を深	め、今後	も郷土(伊	東)に誇り	や愛着が持て	てるようなき	まちづくりに	一努め	てい		
度		<.											
	(次年度修正点)	・高校生アンケートの回答率							できるよう、	高校	にも積		
		極的に働きかけていくととも	に、高校と	の連携を	深め、郷土	愛の醸成に	努めていく。)					
	1(達成状況)	B-											
	(=== lm += 0-1;	- ^-			=		- 123.1 '- '		TR 0 =		
<u>_</u>	(実績評価)	・令和3年度、4年度の実績											
中		度をピークに実績値が減少し ていく必要がある。	、以降傾は	いの推移	っこなってい	る。51さ統	さ、高校と	ル連携を深る	り、郷工変の	ノ番及	に分め		
29	(今後の対応)	・未来ビジョン会議で高校生	の生の声を	信う機会	を創出し	白い埋象。	音目につい	ては 第十二	- 次其木計画	等中	の殴に		
間		反映することで、将来戻って					本元に フ()	こる、カニー	- 《坐平司世		しつかいこ		
評	2 (達成状況)		C/CV . C/B/		, , , , , , , , ,								
oT	Z (Z /) (/) (/	B+											
価 (実績評価) ・令和3年度から5年度にかけて実績値が増加し、順調に推移しているため、今後も郷土(伊護の場合の)										め愛着	が持て		
ш	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	るようなまちづくりに努めて				5 60.0	,	- /ar - (1) /	(~=	,5		
	(今後の対応)・未来ビジョン会議や高校生アンケート等を通じ、高校との連携を深め、郷土愛の醸成に努めていく。												

					指標数	3	3	2	2	2	※ 基本的な取組・主な内			
2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)				達成数	0	0	0	0	0	容の達成状				
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	況			
					指標数	3	3	2	2	2				
	O1 郷土愛醸成に向けた連携の推進 達成状況				達成数	0	0	0	0	0				
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	Ė	この内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
	÷++	仁サレの法様 市	高校と連携した事業数	R1	目標値	23	24	26	28	30	事業			
	O101 ^{高校} 業の	・行政との連携事		22事業	実績値	16	15	22			尹未	企画課		
	***	16.65		乙乙尹未	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上			
	≐ +∴	仁本 眼区田片	高校・関係団体等と連携した事業数	R1	目標値	11	12	13	14	15	事業			
		・行政・関係団体 の連携の推進			実績値	4	10	10			尹未	企画課		
	40	の延済の元と	こ足法の心事未数	り事未		× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上			
	古 坎	ナギキアな」 性派		R1	目標値	10	8	_	_	_				
		生おもてなし特派 業の更なる推進	開催日数	98	実績値	6	5	_	_	_		観光課		
	只尹	来の文体の圧圧		90	評価	× 未達成	× 未達成				以上			
	0101 高校との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。													
	R O102 高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。													
3														
0103 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種観光イベントの中止を余儀なくされ、特派員の体験(従														
	た。高校生をイベント等に従事させるには、感染状況の平穏化が待たれることから、実情に合わせてR4以降の目標値を修正し													
年	た。 0101 日煙値に至らたかったため、市内3校が統会した伊豆伊東京校で宝施されている総会的た坪求の時間「未来学」や理題研究「地域													
-		0101 目標値に至らなかったため、市内3校が統合した伊豆伊東高校で実施されている総合的な探求の時間「未来学」や課題研究「地域 戦略論」のほか、連携の可能性がある校内事業の掘り起こしを行うことで、生徒達の郷土愛につながる取組を増やしていく。												
度	0102 前													
	K of	成に必要な取組に	の数値よりも数値が上回ったことは評価できるが、目標値には至らなかったため、高校と関係団体との連携を深め、郷土愛 必要な取組に努めていく。											
評	4 0103 4	年度においても未満	だ新型コロナウイル	ス感染症が	で平穏化さ	されなかった	ことから、	対外的な交流	交流や観光ボランティアへの依頼を見					
価	三	ったことにより特別	派員の体験(従事)	機会が失れ	れた。た	お、本事業	が令和5年	度から廃止	となったこ	上及び本事業	業に変	わりう		
Ш	3	る事業がないことなどから目標値を見直す。												
	0101 E	標値を達成できなる	かったが、前年度実	績値を上回]ったこと	は評価でき	る。引き続	き、高校と	の連携の可能	能性がある	生がある事業の掘り起			
	<u> </u>	しを行い、生徒達の	の郷土愛につながる	取組を増せ	していく	. 0								
	R 0102高	校と関係団体との	連携を深め、郷土愛	醸成に必要	な取組に	努めていく	. 0							
	5													
	0103 本事業の中心を担っている伊豆伊東高校において、学校主体で民間企業等と対外的な交流を行っていることから、本事業は廃止とするが、引き続き、本市が高校生と連携して実施する新たな事業について検討を続けていく。													
			本市が局校生と連携	して実施す	る新たる	事業につい	て検討を続	けていく。						
	0101 (達 成 状 況) D												
		(一) タケウトナ		フーレージー	+++	+ + · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	14	-+- <i>-</i>	- 1-4-2 4	W D += H	- O.)±.	± 1— ++□		
	実績評	(価) ・各年度とも 待ができる。	らに目標値を達成す?	ることが (c)	さなかっ	にか、美績	件数が伸び	(さ(いる)	_とから、言	後、日標値	の達	以に期		
	(今後の対		連携が可能な事業に	ついて振り	おした行	11 -77	ナタノの車:	学油推た図//) 细十惡在	確成につた	・ガス	トン女		
	「フ仮の刈	心がしている。	型焼が 切能な事業に	ノいて揺り	些し 217	い、一つで	も多くの事	未理捞で凶!	人、郷土愛0.	/・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(n,0)	より劣		
4	0102 (達成状況)D												
間	間 (実 績 評 価) ・各年度ともに目標値を達成することができなかった。新たに連携する事業が極めて少ないことが目標値を達成できない											きない		
要因であると考えらえれる。											_ 0.0			
<u>=</u> 1	(今後の対	応) ・新規の事業	Ěはもとより、既存	事業等につ	いても関	係団体及び	高校との連携	隽の可能性に	こついて検討	けしていく。				
I.E.	5													
1Ш	価 O103 (達成状況) —													
	(実績評価) ・令和3、4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対外的な交流や観光ボランティアへの依頼を見											更を見		
			特派員の体験(活											
	(今後の対		中心を担っている伊!								から、	本事		
		(美は廃止とう	するが、引き続き、ス	本中い高校	土 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	して実施す	の初には事	表にしいて	表別を続げく	.015.				